



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、いかなる法域においても、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの経営陣における重要な人物に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、ソフトバンク・ビジョン・ファンド並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、訴訟並びにその他の要因を含みこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、功績又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、功績又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、功績又は財務状況に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであると保証するものではなく、実績、業績又は功績は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、その推定を示すものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引を決定する際に依存してはなりません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在に、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引法（以下「証券取引法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引法ルール12g3-2(b)に従って証券取引法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に記載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を負うものではないことを表明します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供のみを目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はソフトバンクグループ株式会社の子会社（以下「SBファンド運用会社」といい、SB Investment Advisers (UK) Limited及びその関係会社を含みます。）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」といい、ソフトバンク・ビジョン・ファンド・エル・ピー（以下「ビジョン・ファンド1」）を含みます。）のリミテッド・パートナーシップ持分若しくは同等の有限責任持分の売却の申込み若しくは購入の申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依存してはなりません。

SBファンド、SBIAを含むSBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されている情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンドの将来のパフォーマンスについての誓約又は表明として依拠されるものではありません。

疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、SBファンド運用会社により運用される従前のファンドであり、投資家に対して販売されていません。SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮すべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する言及は、それに含まれる範囲で、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明するためだけに述べられたものであり、いずれか特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドの各投資の投資パフォーマンスは異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はソフトバンクグループ株式会社が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIAは、SBGから別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド1を含むSBIAによって運営されているSBファンドは、SBIA単独で運営されています。

Important information regarding Fund Information contained in this Presentation

This presentation (this “**Presentation**”) is furnished to you for informational purposes and is not, and may not be relied on in any manner as, legal, tax, investment, accounting or other advice or as an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, “**SVFI**” or the “**Vision Fund I**”) or any successor fund managed by SB Investment Advisers (UK) Ltd. (the “**Manager**” or “**SBIA**”) or any affiliates thereof. This Presentation is not intended to be relied upon as the basis for any investment decision, and is not, and should not be assumed to be, complete. The contents of this presentation are not to be construed as legal, business or tax advice.

None of the Vision Fund I, the Manager, any successor fund managed by the Manager, SoftBank Group Corp. (together with its affiliates, “**SoftBank**”) or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information contained herein and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of the Vision Fund I or any other entity referenced in this Presentation, or future performance of any successor fund managed by the Manager.

Recipients of this Presentation should make their own investigations and evaluations of the information contained in this Presentation and should note that such information may change materially. The recipient agrees that it shall independently and without reliance upon SoftBank, the Manager or any of their related persons and based on such documents and information as it has deemed appropriate and on consultations with its own legal, tax, regulatory, accounting, investment and financial advisors, make its own appraisal of, and investigation into the business, operations, property, financial and other conditions, creditworthiness, likelihood of success, merits and consequences of the opportunities described herein. Recipient acknowledges and agrees that none of the Vision Fund I, the Manager, any successor fund managed by the Manager, any affiliate of the foregoing or any related person shall have any duty or responsibility to provide the recipient with any information regarding the business, operations, property, financial and other condition and creditworthiness of the companies discussed herein or any of its affiliates which may come into the possession of any of them.

For the avoidance of doubt, the Vision Fund I is a prior fund managed by SBIA which is not being offered to investors. Information relating to the performance of the Vision Fund I or any other entity referenced in this Presentation has been included for background purposes only and should not be considered an indication of the future performance of the Vision Fund I, any other entity referenced in this Presentation or any successor fund managed by SBIA. References to any specific investments of the Vision Fund I, to the extent included herein, are presented to illustrate the Manager’s investment process and operating philosophy only and should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. The investment performance of individual investments in the Vision Fund I may vary and the performance of the selected transactions is not necessarily indicative of the performance of all of the applicable prior investments. The specific investments identified and described herein do not represent all of the investments made by the Manager, and no assumption should be made that investments identified and discussed herein were or will be profitable.

Statements contained in this Presentation (including those relating to current and future market conditions and trends in respect thereof) that are not historical facts are based on current expectations, estimates, projections, opinions and/or beliefs of the Manager. Such statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, and undue reliance should not be placed thereon. In addition, no representation or warranty is made with respect to the reasonableness of any estimates, forecasts, illustrations, prospects or returns, which should be regarded as illustrative only, or that any profits will be realized. Certain information contained herein constitutes “forward-looking statements,” which can be identified by the use of terms such as “may”, “will”, “should”, “expect”, “project”, “estimate”, “intend”, “continue”, “target” or “believe” (or the negatives thereof) or other variations thereon or comparable terminology. Due to various risks and uncertainties, actual events or results or actual performance of the Vision Fund I or any successor fund managed by the Manager (or any other entity referred to herein) may differ materially from those reflected or contemplated in such forward-looking statements. As a result, investors should not rely on such forward-looking statements in making their investment decisions. No representation or warranty is made as to future performance or such forward-looking statements.

None of the information contained herein has been filed with the U.S. Securities and Exchange Commission, any securities administrator under any securities laws of any U.S. or non-U.S. jurisdiction or any other U.S. or non-U.S. governmental or self-regulatory authority. No such governmental or self-regulatory authority will pass on the merits of the offering of interests in the Vision Fund I or any successor fund managed by the Manager or the adequacy of the information contained herein. Any representation to the contrary is unlawful.

Certain information contained in this Presentation has been obtained from published and non-published sources prepared by other parties, which in certain cases has not been updated through the date hereof. While such information is believed to be reliable for the purposes of this Presentation, none of the Vision Fund, any future fund managed by the Manager, the Manager, SoftBank, or their respective affiliates assumes any responsibility for the accuracy or completeness of such information and such information has not been independently verified. Except where otherwise indicated herein, the information provided in this Presentation is based on matters as they exist as of the date of preparation of this Presentation and not as of any future date, and will not be updated or otherwise revised to reflect information that subsequently becomes available, or circumstances existing or changes occurring after the date hereof.

There can be no assurance that the expected projected results will be achieved, and actual results may vary significantly from the expected projections. General economic, natural and other conditions, which are not predictable and are outside the control of the Manager, can have an adverse impact on the reliability of such expected projections. There can be no assurance that the Vision Fund or any future fund managed by SBIA will be able to make investments in companies that the Manager otherwise deems appropriate or, if it does, as to the size of the position it will be able to build. Moreover, the inability to sell investments in companies in these circumstances could materially adversely affect the investment results of the Vision Fund or any future fund managed by the Manager. There is no guarantee that the Vision Fund or any future fund managed by SBIA will be able to successfully implement the strategies described in the Information.

Certain information presented herein may be based, in part, on information from third parties believed to be reliable and/or assumptions that later prove to be invalid or incorrect.

Third-party logos and vendor information included herein are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that the Manager, the Vision Fund’s portfolio companies, any future portfolio companies of a future fund managed by the Manager or SoftBank will work with any of the firms or businesses whose logos are included herein in the future.

No assumption should be made that investments identified and discussed herein were or will be profitable, or that investments made in the future will be comparable in quality or performance to the investments described therein. The actual return realized by any investor in the Vision Fund or any future fund managed by SBIA may differ materially from those reflected or contemplated in the data presented in this Presentation.

EACH RECIPIENT ACKNOWLEDGES AND AGREES THAT IT IS RECEIVING THIS PRESENTATION ONLY FOR THE PURPOSES STATED ABOVE AND SUBJECT TO ALL APPLICABLE CONFIDENTIALITY OBLIGATIONS AS WELL AS THE UNITED STATES SECURITIES LAWS PROHIBITING ANY PERSON WHO HAS RECEIVED MATERIAL, NON-PUBLIC INFORMATION FROM PURCHASING OR SELLING SECURITIES OF THE APPLICABLE ISSUER OR FROM COMMUNICATING SUCH INFORMATION TO ANY OTHER PERSON UNDER CIRCUMSTANCES IN WHICH IT IS REASONABLY FORESEEABLE THAT SUCH PERSON IS LIKELY TO PURCHASE OR SELL SUCH SECURITIES.



人類の歴史



危機が新しい日常を生む

19世紀

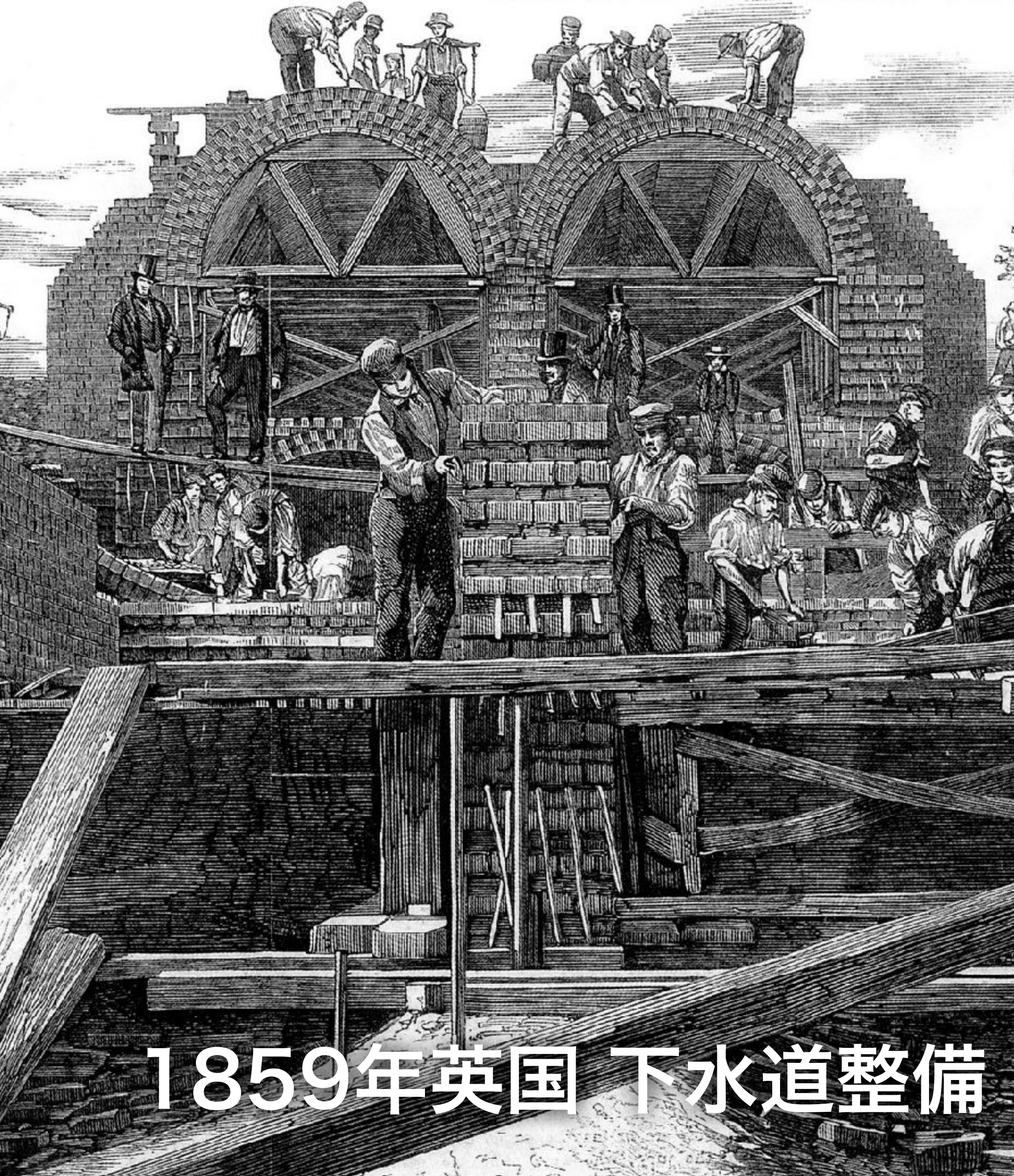
コレラ大流行



疫病の危機

100万人超が死亡

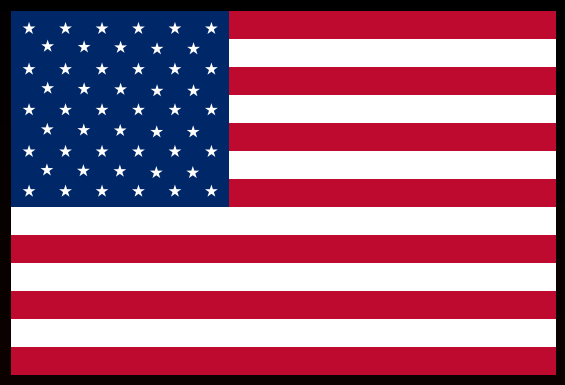
1832年英国 コレラ流行



新しい日常
安全な水
(下水道の整備)

1859年英国 下水道整備

1929年 世界恐慌



経済危機

1,300万人失業

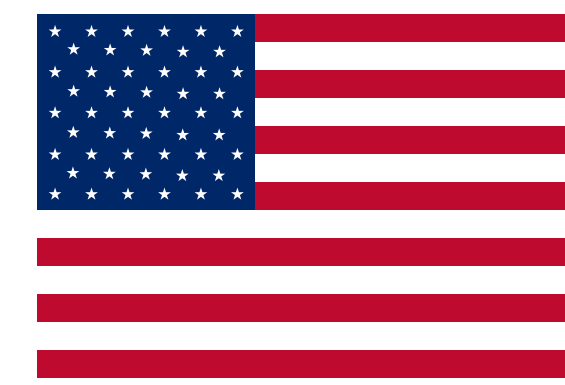
失業率25%に

1931年米国 失業者向け無料配給

ニューディール政策 雇用の創出

水カダム建設

道路建設



新しい日常
ダム(電気)
道路(自動車)

2020年

新型コロナ危機

累計感染者数 (世界)

900万人

人との接触
に制限



'20年1月 '20年2月 '20年3月 '20年4月 '20年5月 '20年6月

2020年6月24日時点(913万人)

(出所) 世界保健機関(WHO) 10



新しい日常

デジタルシフト



オンライン会議



オンラインデリバリー



オンライン教育

デジタルシフトが加速



オンライン診療



オンラインショッピング

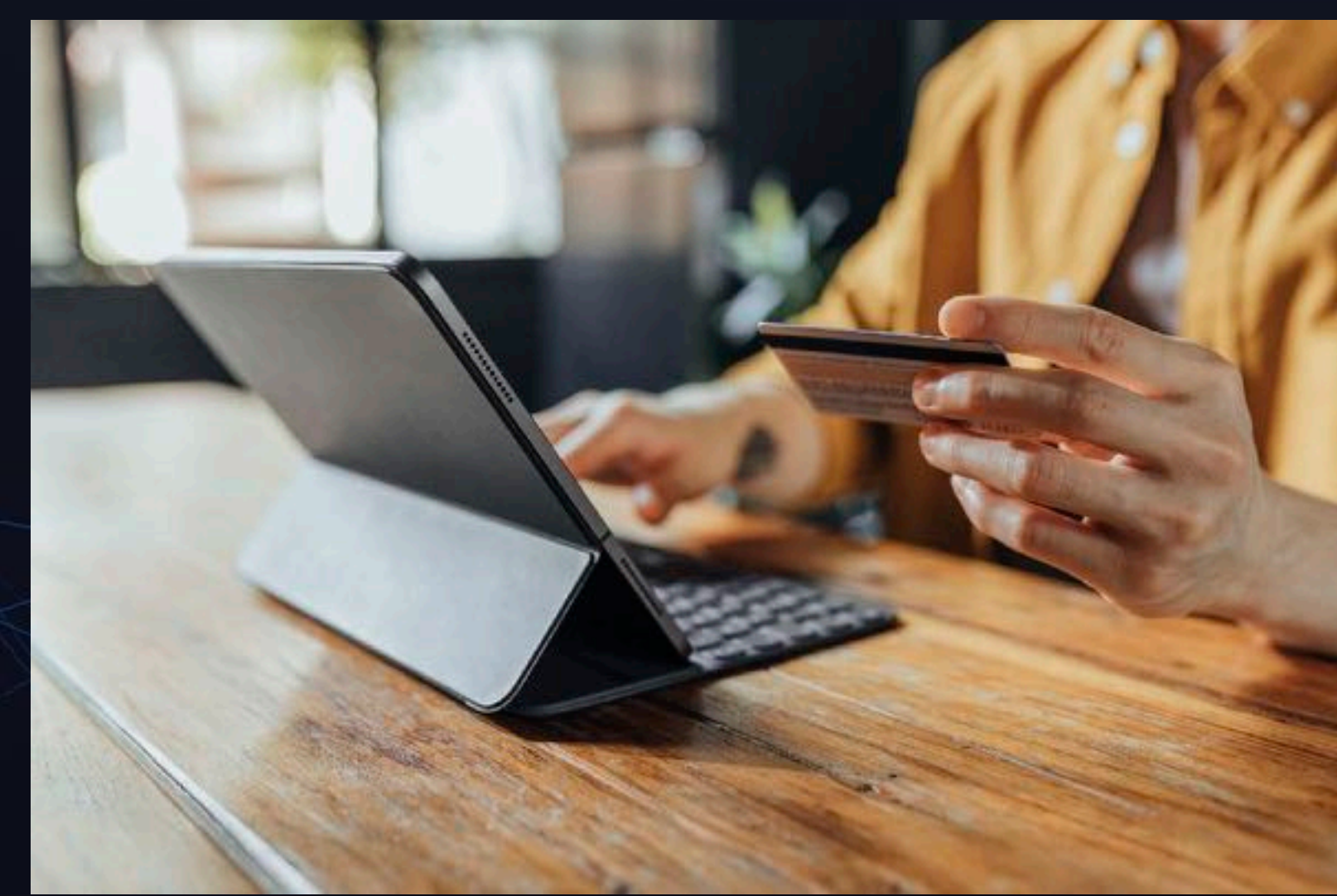


オンラインエンタメ

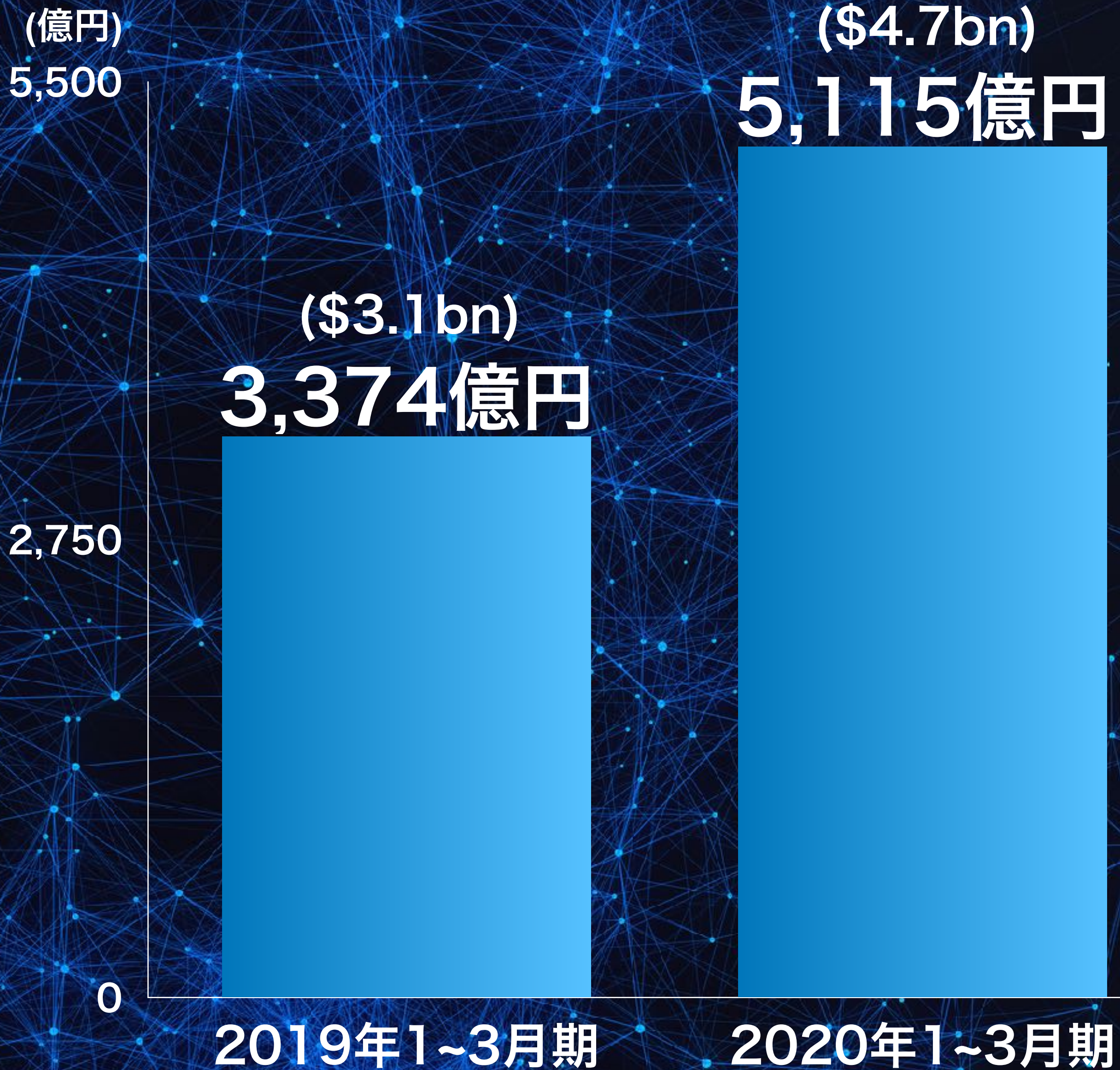
売上増減率 (前年比)



デジタルシフトが 加速



取扱高



Uber Eats

オンラインデリバリー 52%増



1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で換算
(出所) Uber プレスリリース(2020年5月7日)
取扱高: EatsセグメントのGross Bookings

月間アクティブユーザー数



平安好医生

要健康上平安好医生

(Ping An Good Doctor)

オンライン診療

11.1億人利用

('20年1月20日~2月10日)

(万人)
10,000

5,000

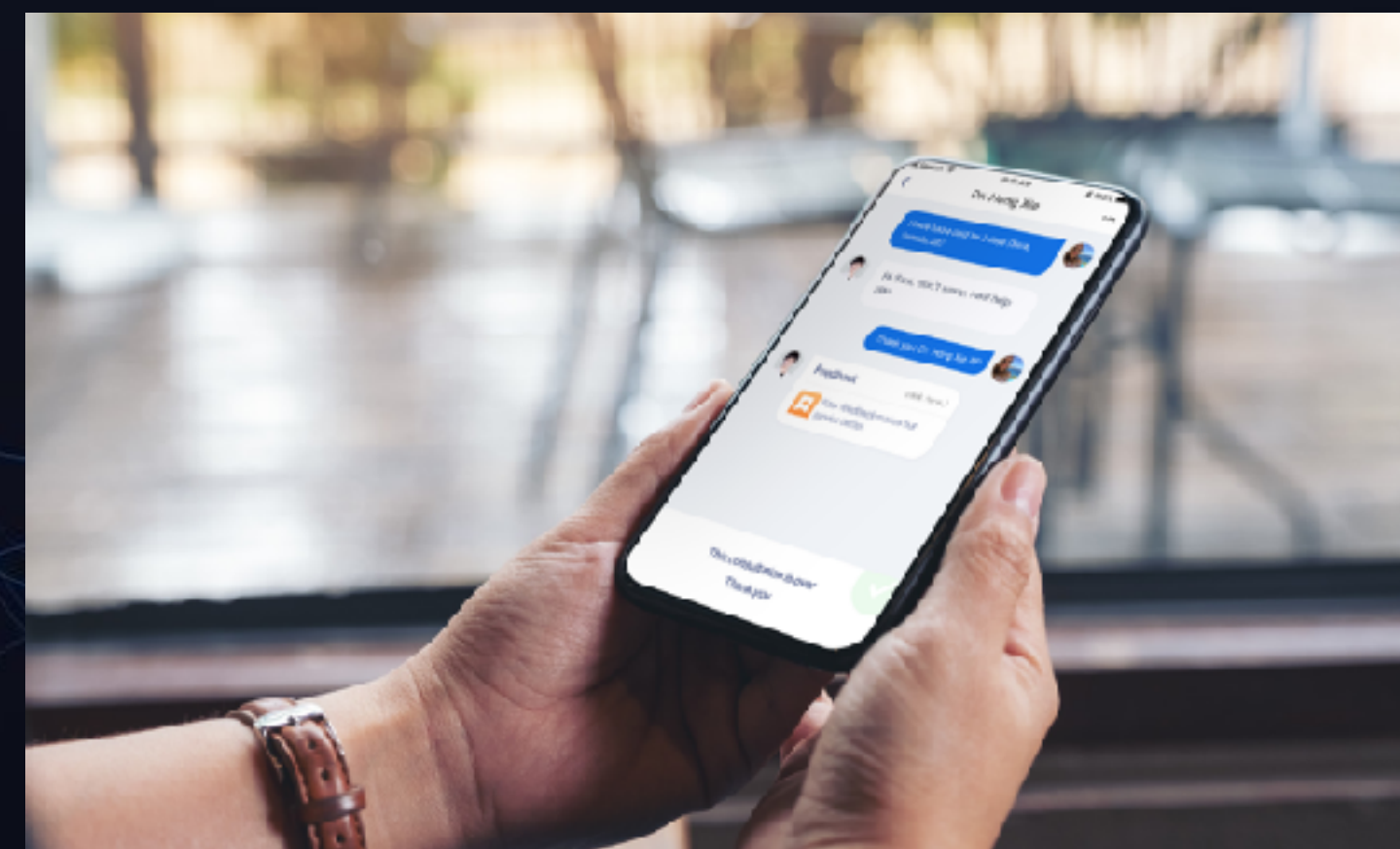
0

5,470万人

6,690万人

2018年12月

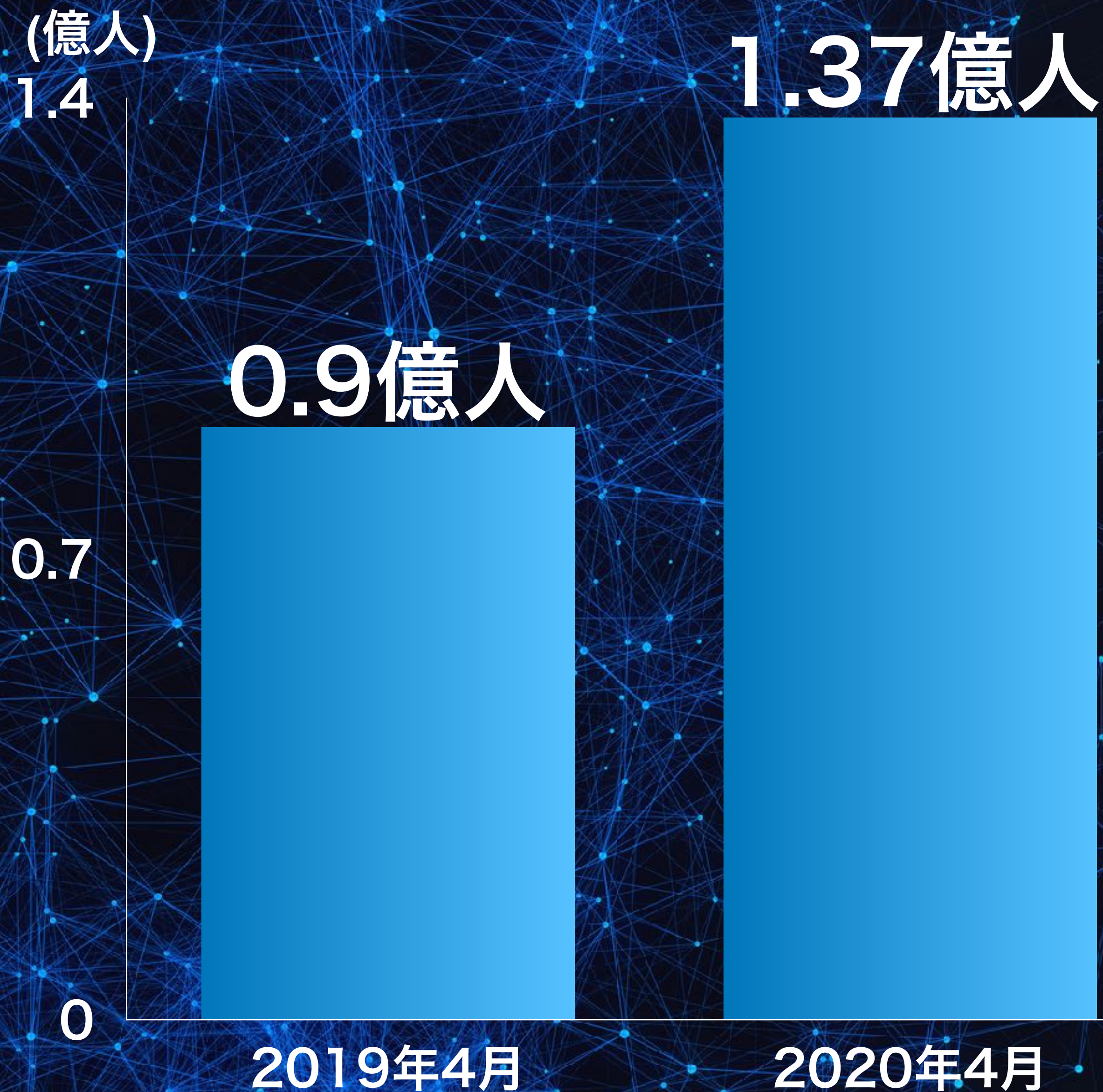
2019年12月



(出所) Ping An Good Doctor - Annual Report 2019

11.1億人：2020年1月20日~2月10日の間にPing An Good Doctorのアプリを訪問した人数

月間アクティブユーザー数



作业帮

在线学习就用作业帮

(Zuoyebang)

オンライン教育 プラットフォーム

52%増

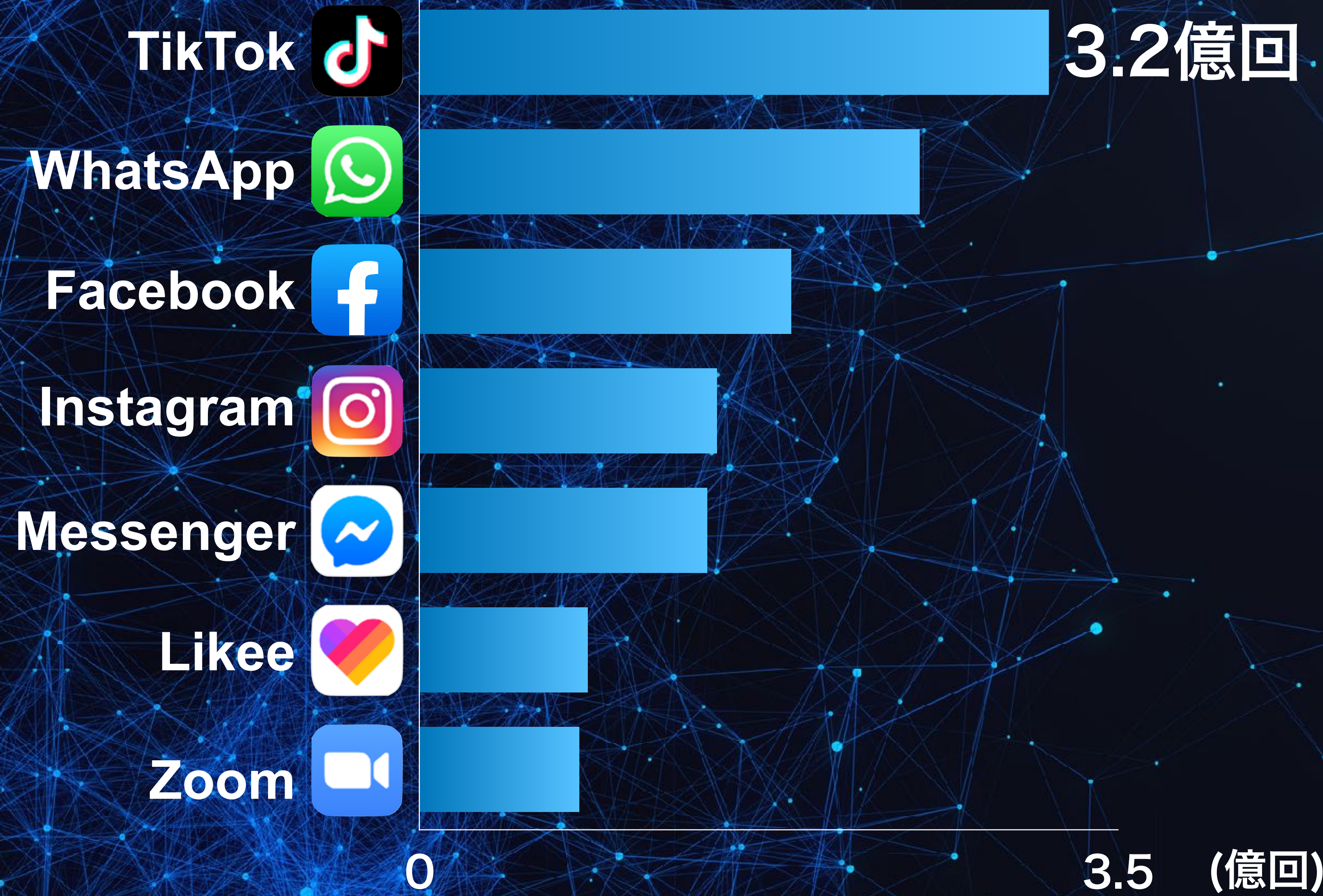


(出所) Zuoyebang

宿題検索アプリの月間アクティブユーザー数

アプリダウンロード数(世界)

(2020年1~3月期)



ByteDance

世界最多



オンラインエンタメ

顧客数

(万社)

14

7

0

9.5万社

12.2万社

2019年4月

2020年4月

slack

オンライン会議の
最先端ツール

28%増



(出所) Slack開示資料

顧客数：課金顧客と新規顧客の合計した数



VIR

新型コロナウイルスの 治療薬・ワクチン

開発にAIを活用

数千個の治療用抗体を特定
今夏に**2個の有力抗体**の臨床試験



ROIVANT
SCIENCES

AI活用で 治療薬を開発

(新型コロナによる
呼吸困難症状向けの治療薬等)



デジタルシフトを牽引

SoftBank Group

PCソフト



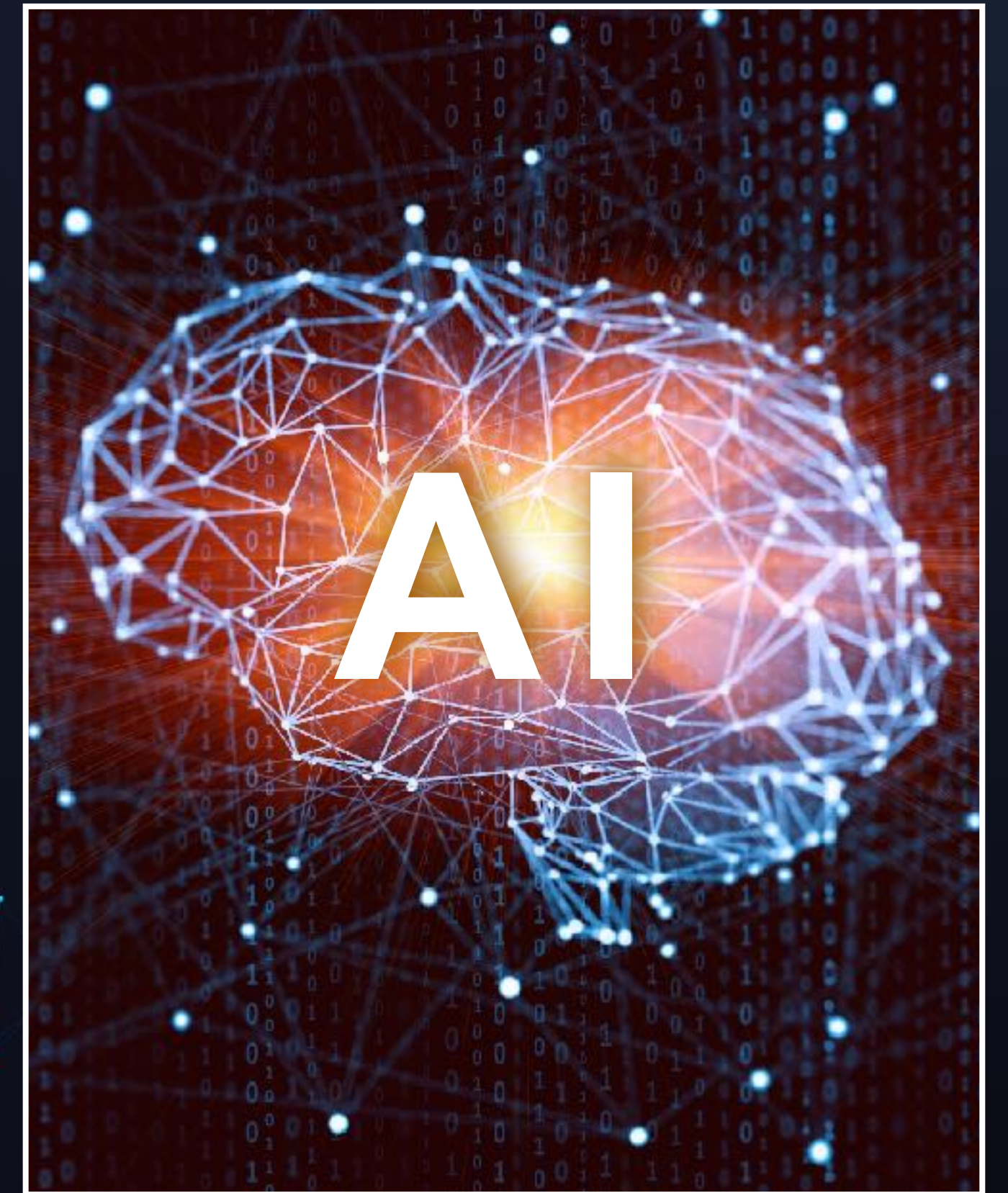
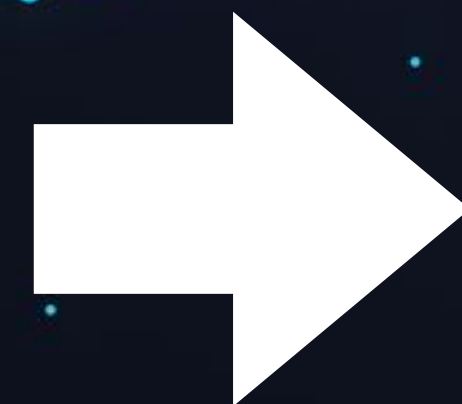
インターネット



ブロードバンド



スマートフォン



デジタルシフトを牽引

株主の皆様に関心

ソフトバンクは
大丈夫か？



戰略的持株会社

最重要指標

營業利益

最重要指標

營業利益

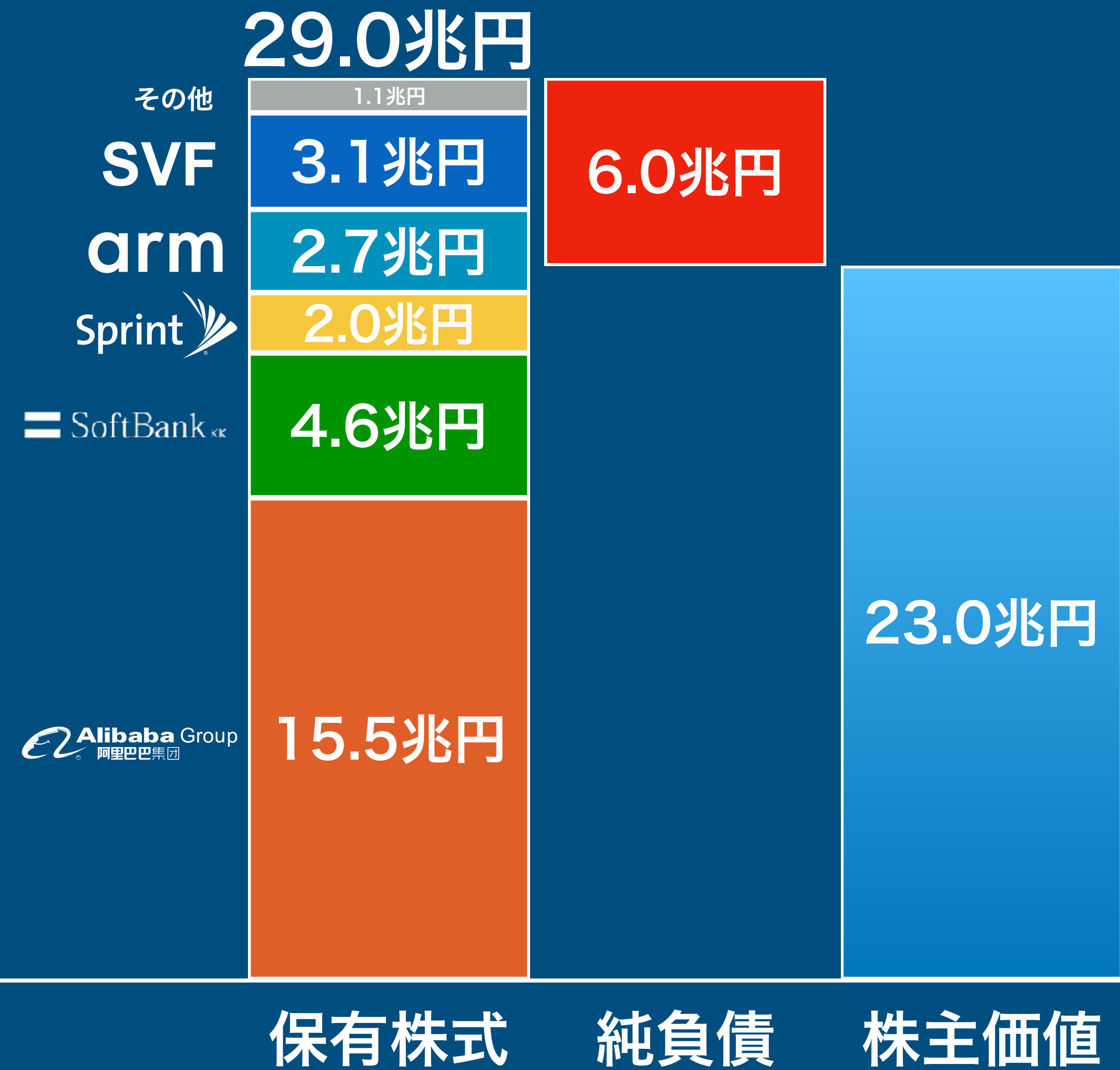
株主価値

最重要指標

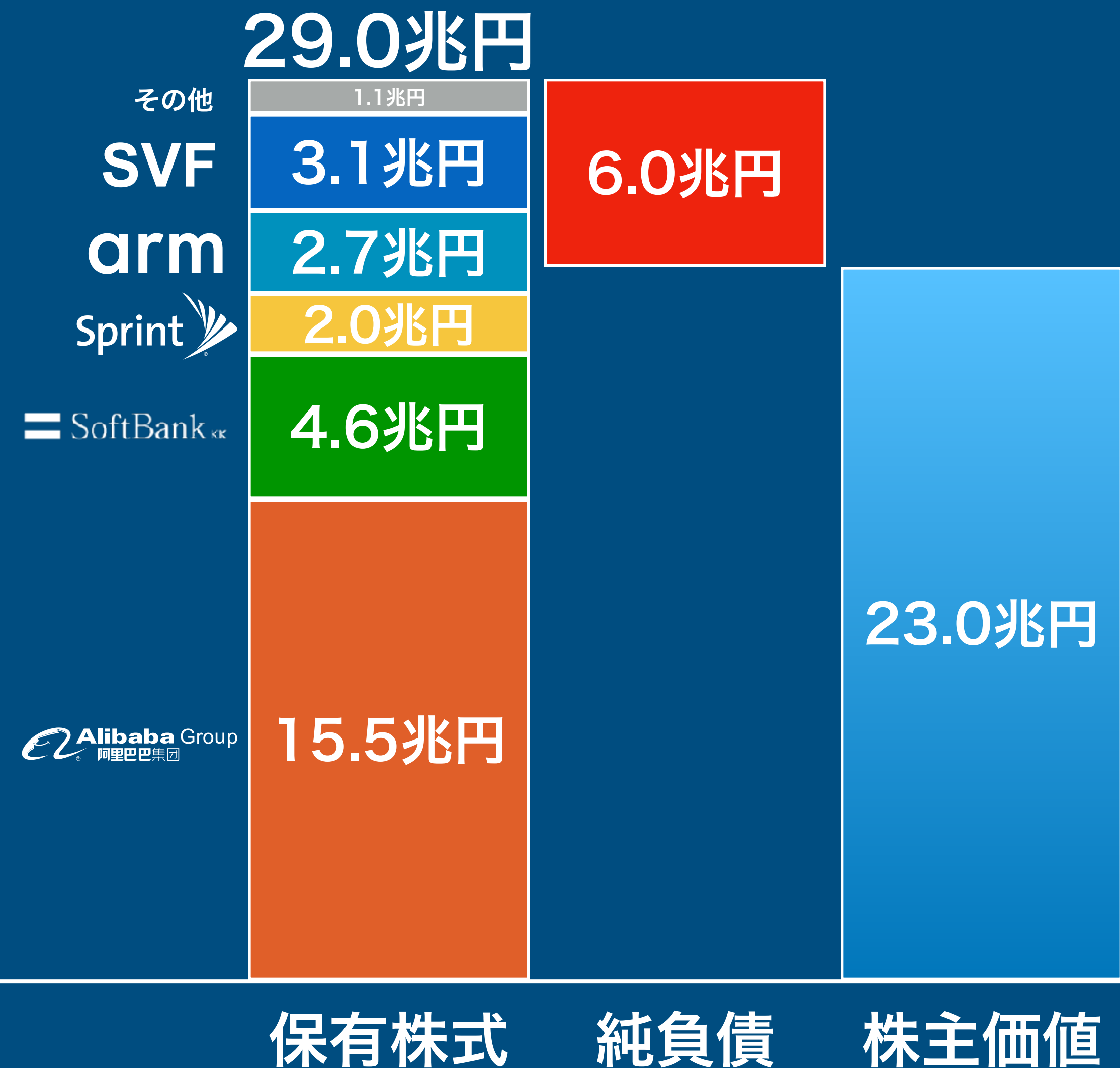
營業利益



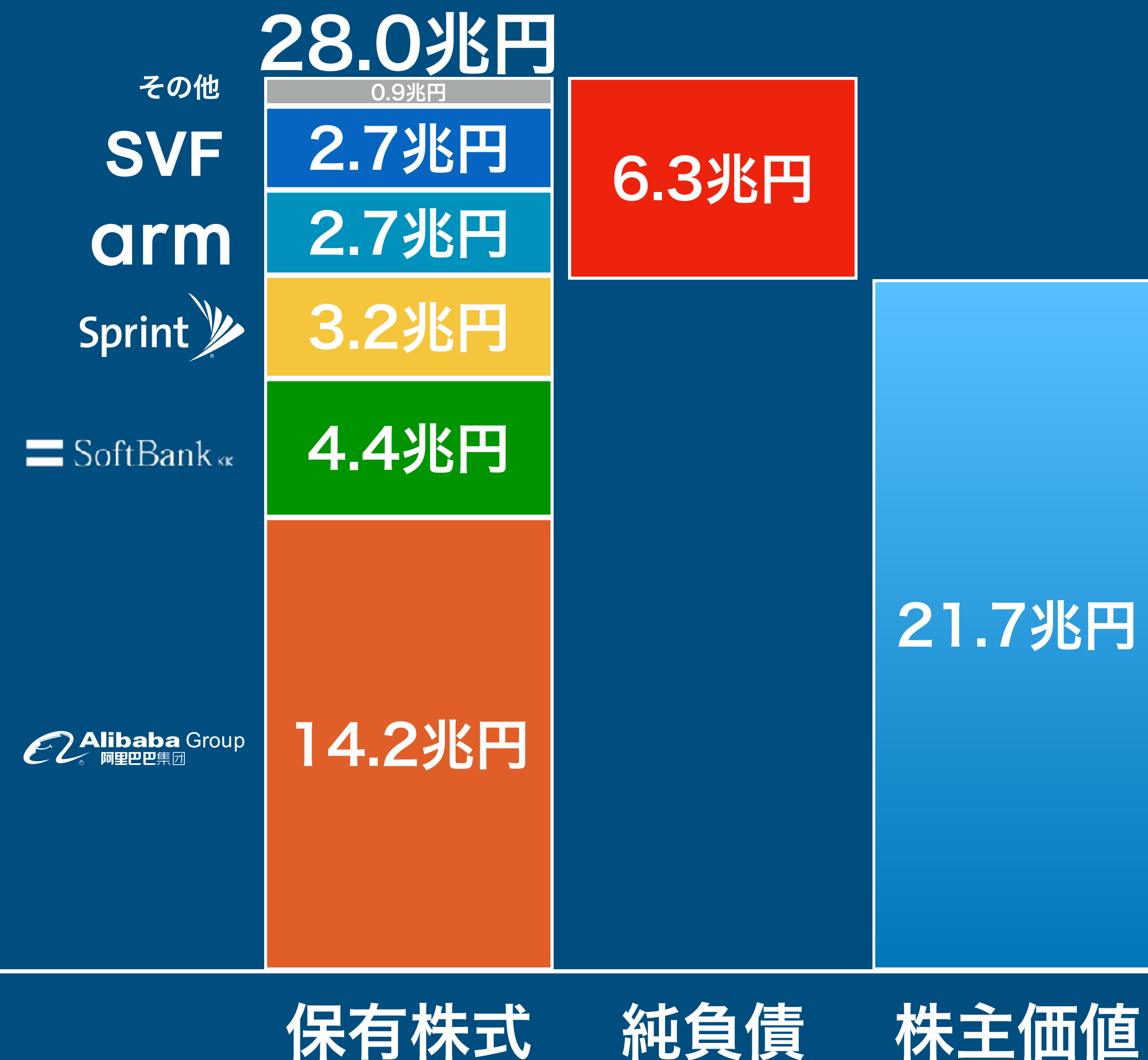
株主価値



2019年12月末



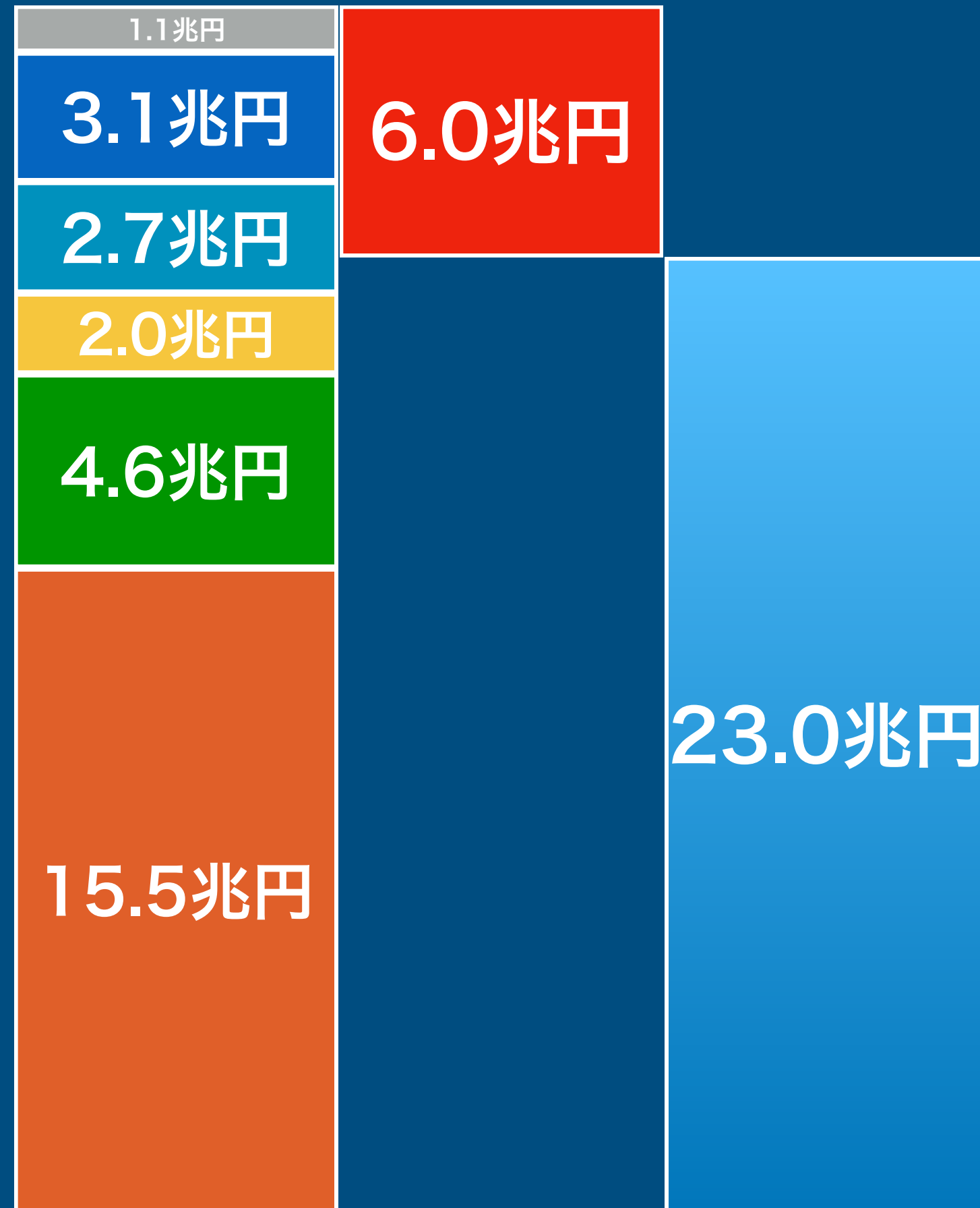
2019年12月末



2020年3月末

・ 株価：2019年12月30日終値（日本）、2019年12月31日終値（米国）
 ・ 詳細は「Sum of the Partsの定義および算出方法（2019年12月末時点）」を参照

29.0兆円

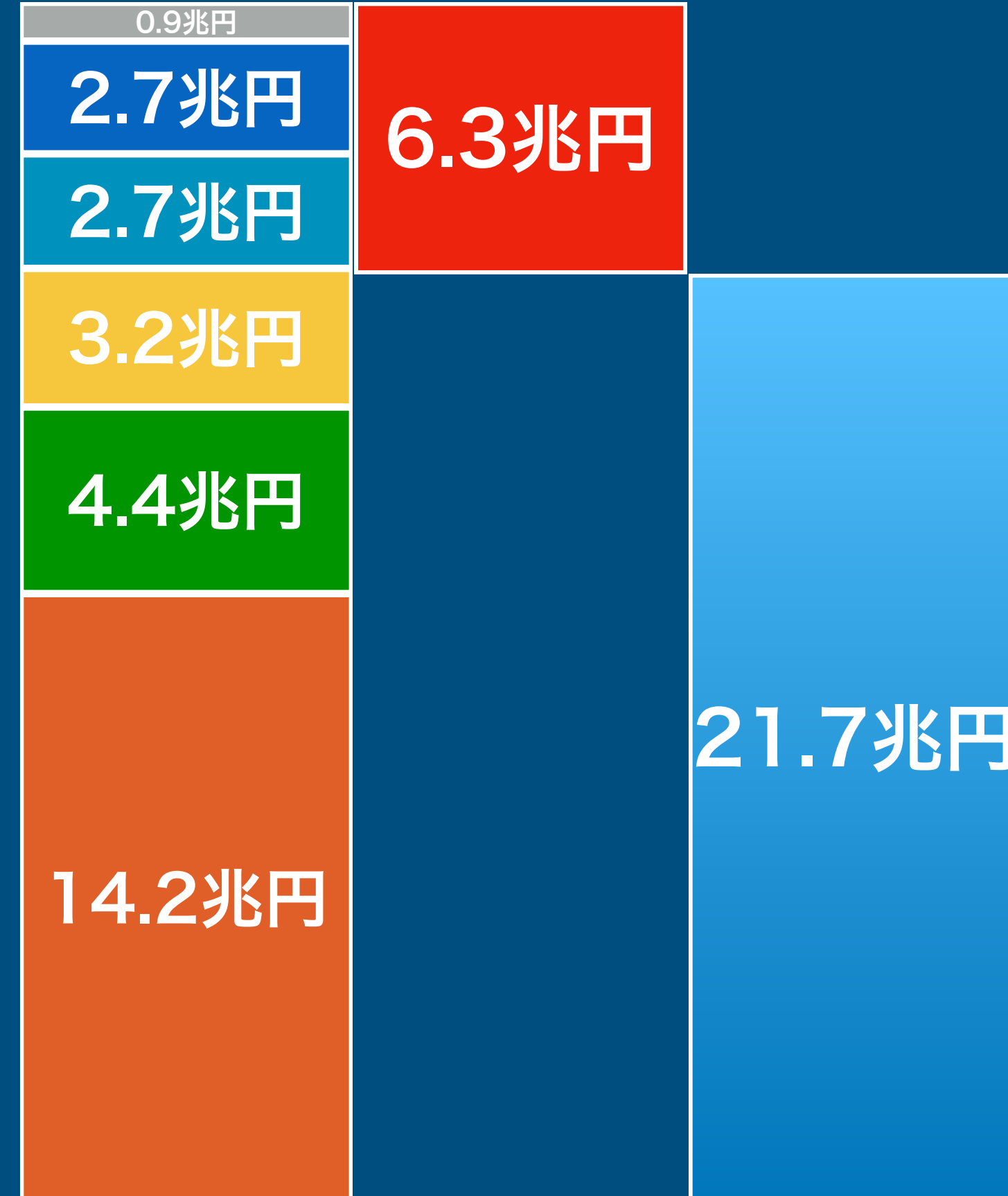


保有株式 純負債 株主価値

2019年12月末

・ 株価：2020年3月31日終値（日本）、2020年3月31日終値（米国）
 ・ 詳細は「Sum of the Partsの定義および算出方法（2020年3月末時点）」を参照

28.0兆円

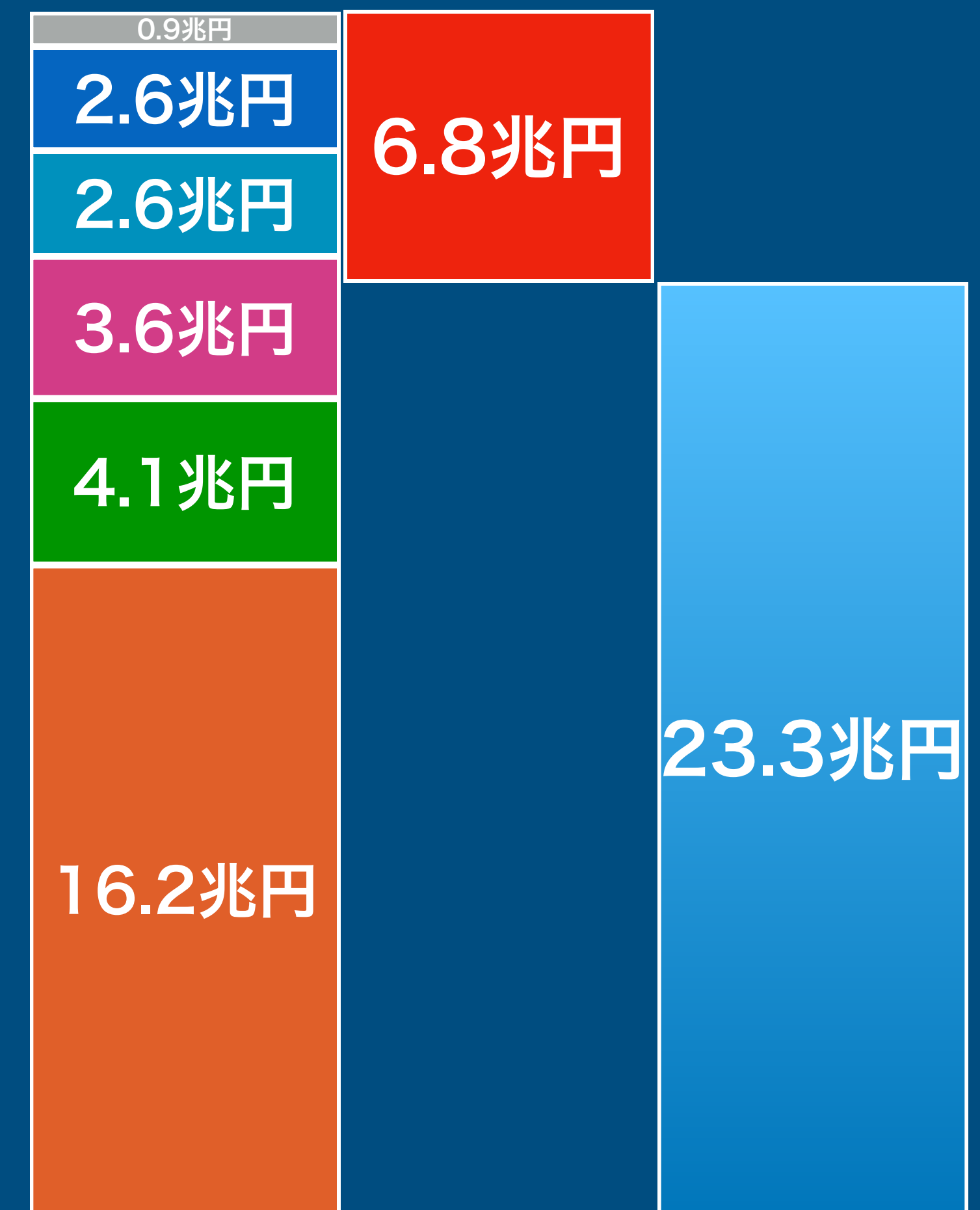


保有株式 純負債 株主価値

2020年3月末

・ 株価：2020年6月24日終値（日本）、2020年6月24日終値（米国）
 ・ 詳細は「Sum of the Partsの定義および算出方法（2020年6月24日時点）」を参照

30.0兆円



保有株式 純負債 株主価値

2020年6月24日

Tモバイルの買収断念

ソフトバンクが子会社の米携帯電話話3位、スプリントを通じていたTモバイルUSの買収を断念したことが6日明らかになった。ソフトバンクとTモバイルの両社間で傘下に収め米2強のベライヤレス、AT&T両陣営に買収を断念する方針は変更を迫る

負債膨張に懸念も

米携帯買収 早期の効果必要

インフラ整備で巨額投資

ソフトバンクは11日、米携帯電話3位のスプリント・ネクステルの買収を完了したと発表した。これにより携帯電話事業で世界3位に匹敵するグループが誕生した。ただ、スプリントは赤字続きで経営再建が急務。高速通信サービス「LTE」を整備し顧客を獲得する考えだが、買収やインフラ整備など巨額投資に伴う財務悪化をどう解消するかが課題となる。

買収完了を受け、ソフトバンクの孫正義社長は「スプリントを（米国のベライヤレス・ワイヤレスとAT&T）2社による寡占市場に對抗できる企業にする」とコメントを出した。米国市場で3位のスプリントの契約者数は約5500万件と

財務再

スプリントの顧客増急

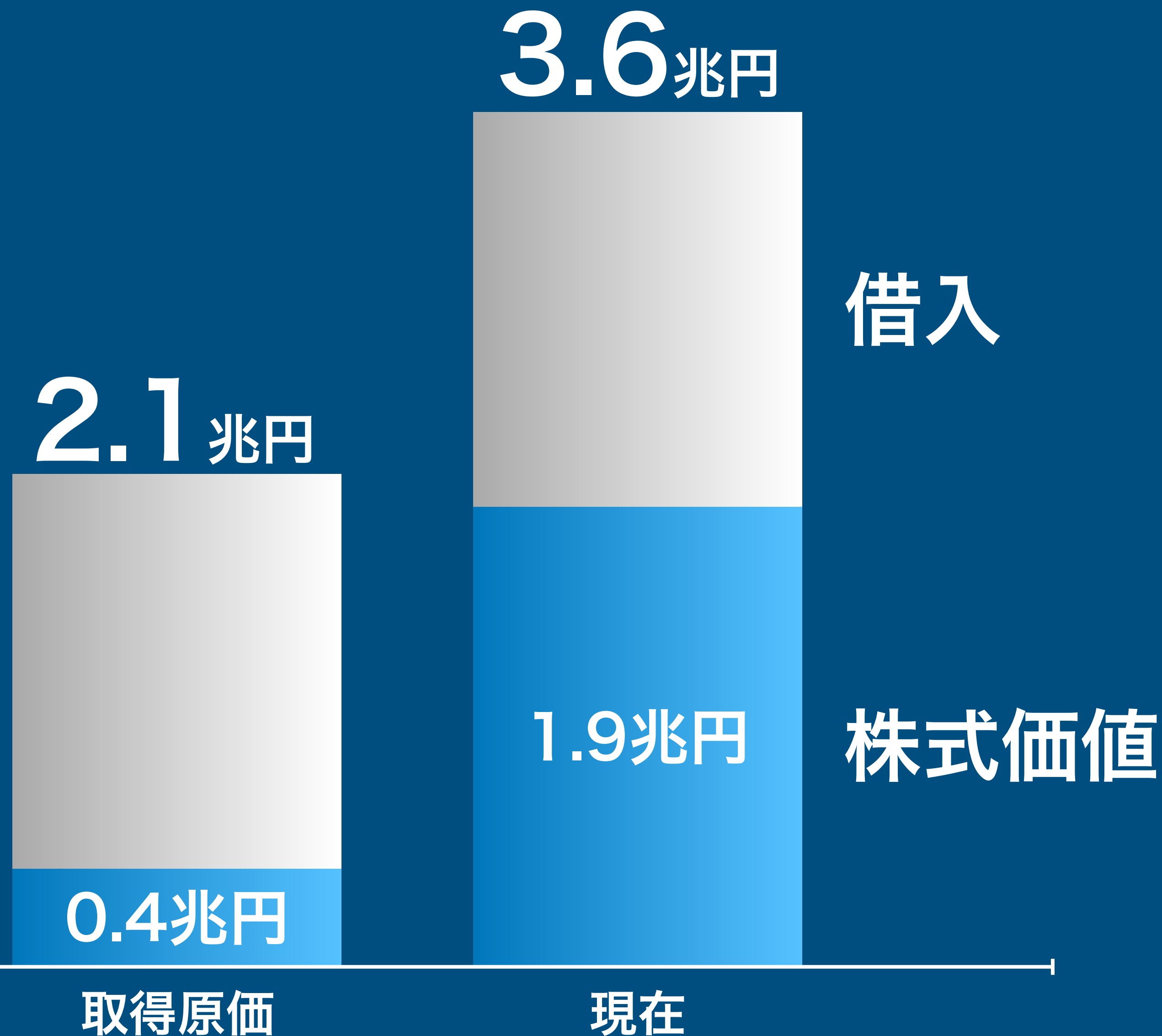
ソフトバンク 米戦略転換

の支持を訴えたのも、M&A（企業の合併・買収）のみに限らず、

Sprint投資の実績



Sprint投資の実績



IRR 25%

1ドル = 106.53円

現在 = (a) 売却予定のTモバイル株式の価値 + (b) 株式購入オプションの対象となる株式の価値 + (c) 売却および株式オプションの対象とならない株式の価値 + (d) 新Tモバイル株式(48,751,557株)を再発行してもらえ権利の公正価値

(a) 売却予定のTモバイル株式の価値：2020年6月24日付プレスリリース「当社持分法適用関連会社（T-Mobile US, Inc.）株式の売却に関する売却株式数および売却価額のお知らせ」に掲載されている売却価額の総額(20,115百万ドル)

(b) 株式購入オプションの対象となる株式の価値：ドイツテレコムが受領する株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)に、2020年6月24日のTモバイル株の終値を乗じて算出。

(c) 売却および株式オプションの対象とならない株式の価値：当社が2020年4月1日時点で保有している株数から、上記の(a)および(b)の対象とならない株式数を差し引いた株式数(4,800,000株)に、2020年6月24日のTモバイル株の終値を乗じて算出。

(d) 新Tモバイル株式(48,751,557株)を再発行してもらえ権利の公正価値：新Tモバイル普通株式の45日間の出来高加重平均価格が、2022年4月1日から2025年12月31日の期間に150米ドル以上となった場合に、ソフトバンクグループ株式会社が新Tモバイルから無償で新Tモバイル株式(48,751,557株)を再発行してもらえ権利の公正価値

売却および関連取引の実施に関連してTモバイルに対して支払う予定の費用(300百万ドル)を考慮

取得原価：付随費用を含まない

借入：日本円による買収時の調達額(1.65兆円)

IRR：株式価値に係るIRR

今後、(i) 特定の事項に起因する金銭的損失、及び(ii) 特定の状況下でのスプリント及びその子会社の周波数へのTモバイル及びその子会社のアクセス停止に起因する損失について、原則として当社はTモバイル及びその子会社に対し補償を行う可能性があります。現時点で取得可能な情報に基づき、当社は、当社が負担し得る補償額は合計で2億米ドルを超えないものと想定しています（補償請求を受ける可能性及び一定の損失に関してTモバイルとの間で最初の2億米ドルについて分担することを考慮済み）が、これは本IRRの計算には考慮していません。

保有資産の売却・資金化

最大
4.5兆円

SoftBank KK

Alibaba Group
阿里巴巴集团

T-Mobile®

0.3兆円

1.2兆円

2.2兆円

3.7兆円
(8割進捗)

SBKK: 2020年5月に実行されたソフトバンク株式の一部譲渡価額(3,102億円)

Alibaba: 2020年4月および5月に締結された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(先渡契約・フロア契約・カラー契約)の調達金額の合計額(\$11.5bn)。

Tモバイル:(売却予定価額): 2020年6月24日付プレスリリース「当社持分法適用関連会社(T-Mobile US, Inc.)株式の売却に関する売却株式数及び売却価額のお知らせ」に掲載されている売却価額の総額(20,115百万ドル)

※1ドル= 106.53円

売上高

(12ヶ月累計)

米国会計基準

8.0兆円

5.9兆円

35%増

2012年 3月期 2014年 3月期 2016年 3月期 2018年 3月期 2020年 3月期



純利益 (税引後)

(12ヶ月累計)

米国会計基準

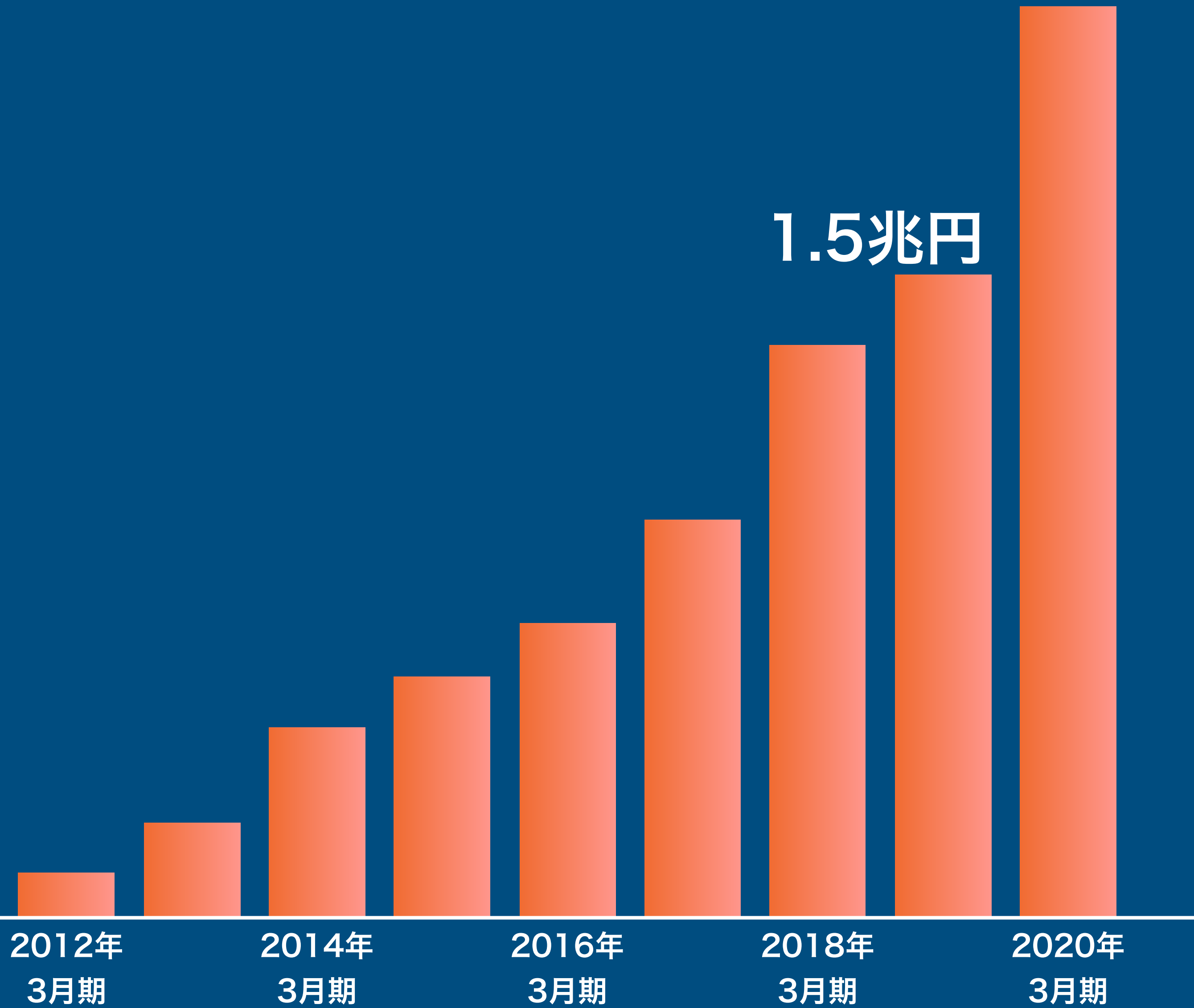
Non-GAAP

株式報酬費用/無形資産償却/
投資の再評価益等の一時損益を除く

2.1兆円

1.5兆円

42%増



armベースチップ出荷数 (累計)

(個)

1,660億

1,430億

急増

1990 '93 '96 '99 '02 '05 '08 '11 '14 '17 '19 (年)



AWS・Arm パートナーシップ

arm

(AWS Graviton2 プロセッサ)



arm

処理速度が最大65%アップ

最大40%のコスト削減

(出所) Amazon.com, Inc. 2020年5月時点

*(AWS M6g (Graviton2 採用) 仮想マシンとAWS M5 (Xeon Platinum 8000 採用) 仮想マシンの特定の負荷における処理速度を比較)

**AWS Intel Xeonベースの仮想マシンからAWS Graviton2ベースの仮想マシンに必要な最低限の作業でアプリケーションの環境移行を行なった際のコスト比較

6月22日発表

arm

Armチップ搭載の スパコン「富岳」が 世界最速に

- 16万のCPUを同時稼働
- 「京」の3倍の消費電力で処理速度100倍

(出所) TOP500 スーパーコンピュータ計算速度 2020年6月22日時点

(出所) RIKEN - 158,976CPUを同時稼働 イメージ ©RIKEN

(出所) RIKEN記者会見2020年6月23日

株価パフォーマンス

(’19年12月末を100として算出)

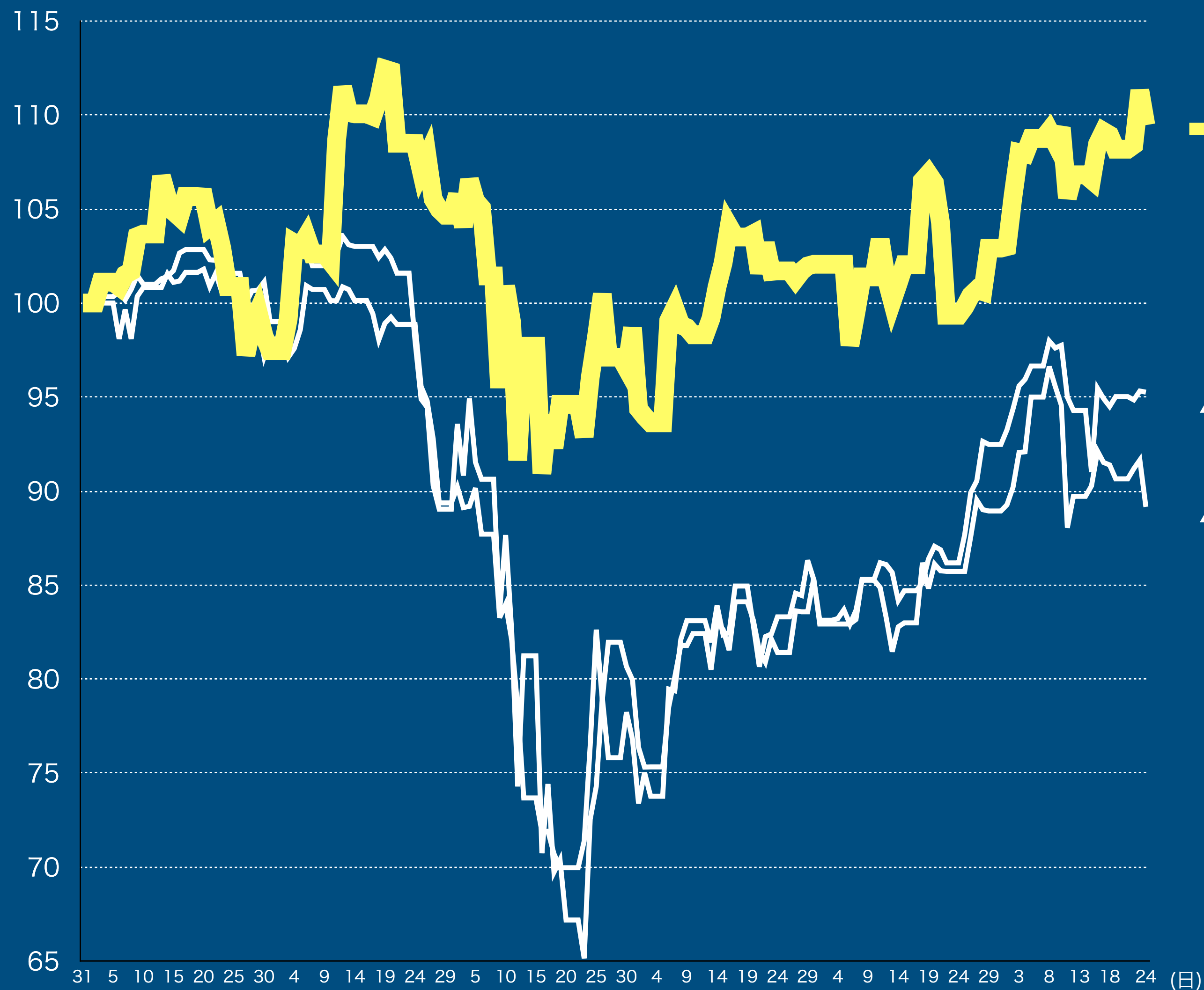


'20年1月 '20年2月 '20年3月 '20年4月 '20年5月 '20年6月

'19年12月末：日本'19年12月30日終値、米国'19年12月31日終値

株価パフォーマンス

(’19年12月末を100として算出)



+9% SBG保有上場株
(Alibaba+Tモバイル+SBKK)

▲5% 日経平均

▲11% NYダウ平均

'20年1月 '20年2月 '20年3月 '20年4月 '20年5月 '20年6月

SBG保有上場株：SBGのAlibaba・Tモバイル(’20年3月31日まではスプリント)・SBKKの保有株式価値に基づき算出。2020年5月に実行されたSBKK株式の一部譲渡取引による譲渡価額(3,102億円)を取引実行日以降加算し考慮。新Tモバイル株式(48,751,557株)を再発行してもらえ権利の公正価値をスプリントとTモバイルの合併完了日以降加算し考慮。6月24日時点のTモバイルの保有株式価値の詳細は「Sum of the Partsの定義および算出方法(2020年6月24日時点)」を参照。

’19年12月末：日本’19年12月30日終値、米国’19年12月31日終値
2020年6月24日時点

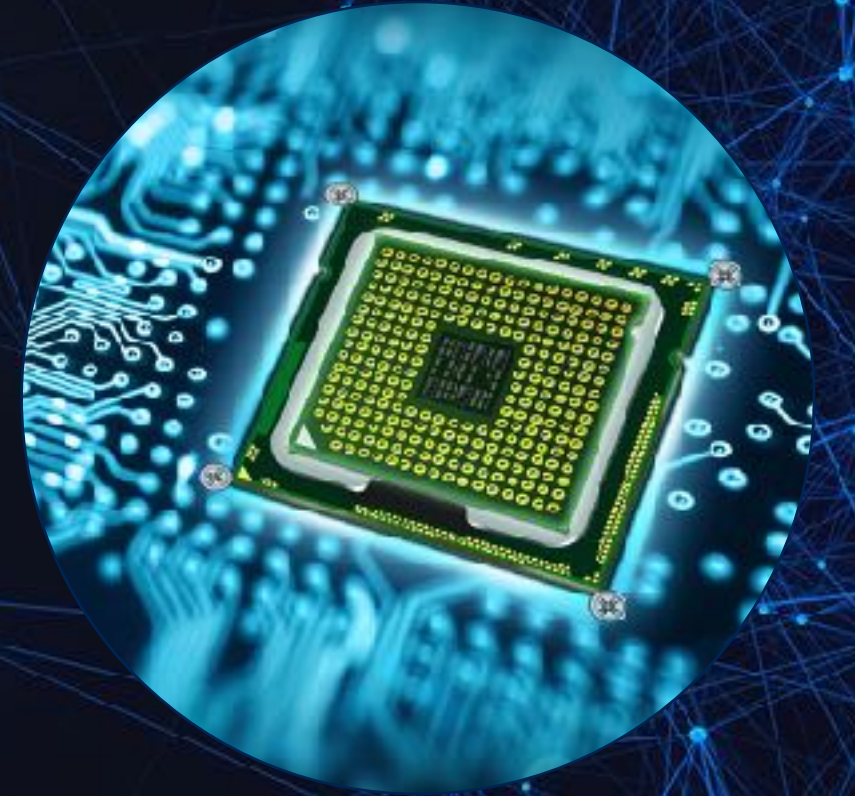
オールドエコノミー



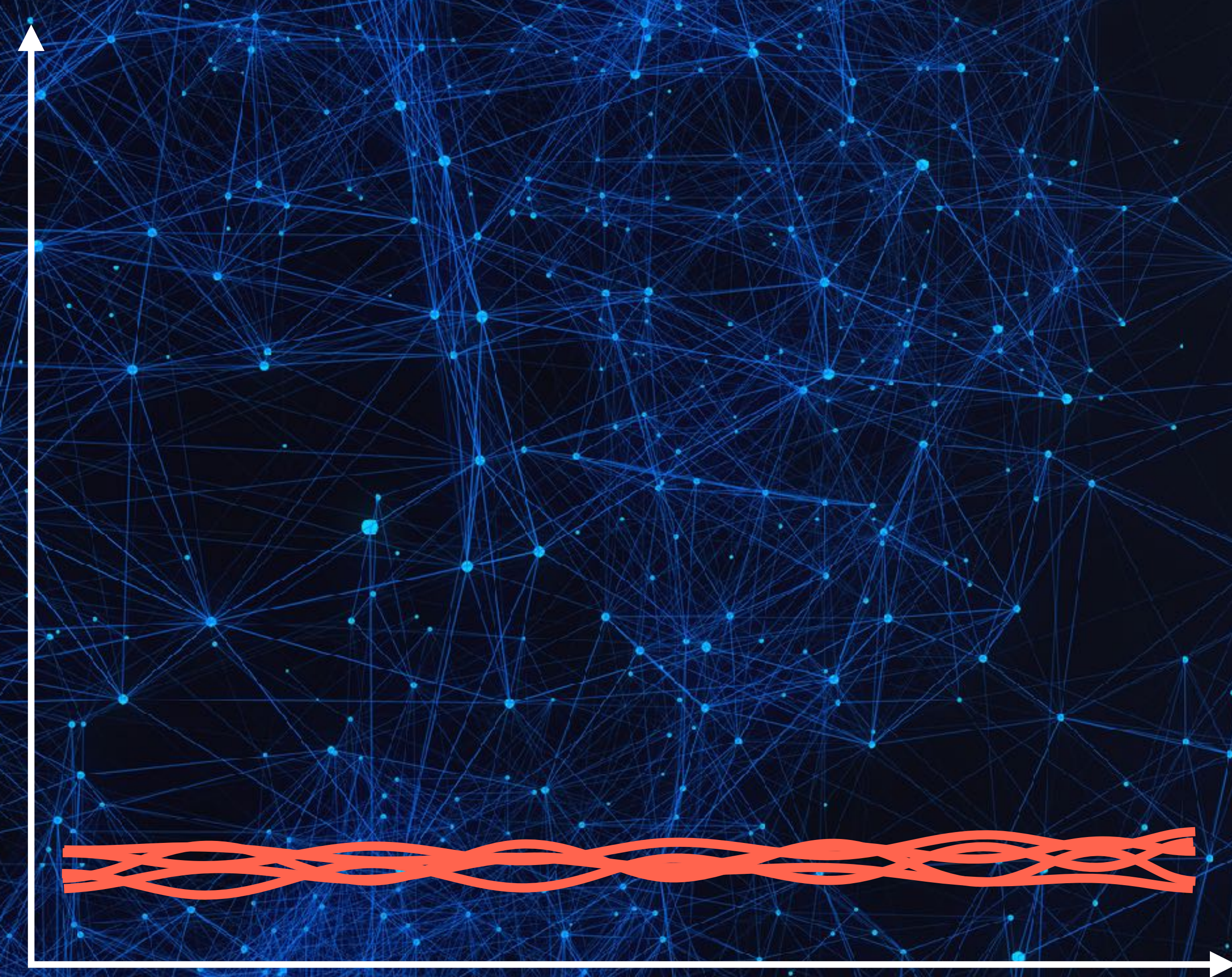
オールドエコノミー



デジタルエコノミー



成長曲線

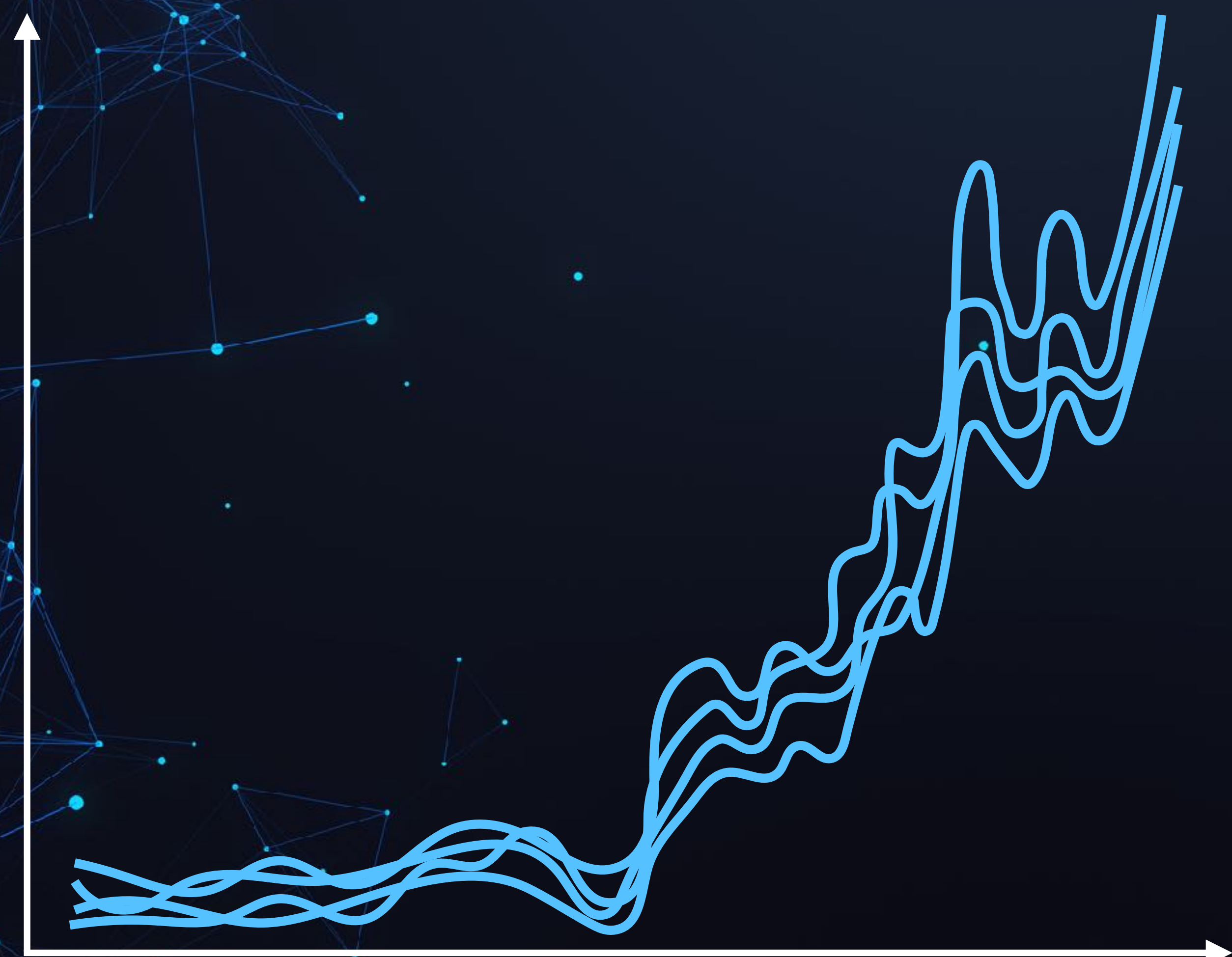


オールドエコノミー

成長曲線



オールドエコノミー



デジタルエコノミー

ネット トラフィック

254EB



1995 '97 '99 '01 '03 '05 '07 '09 '11 '13 '15 '17 '19 '20 (年)

インターネットトラフィック：全世界の総IPトラフィック(1ヶ月当たり)、(出所)Cisco VNI (Visual Networking Index)及びOECD

ネット
トラフィック

SBG 株主価値
23兆円

株主価値が拡大

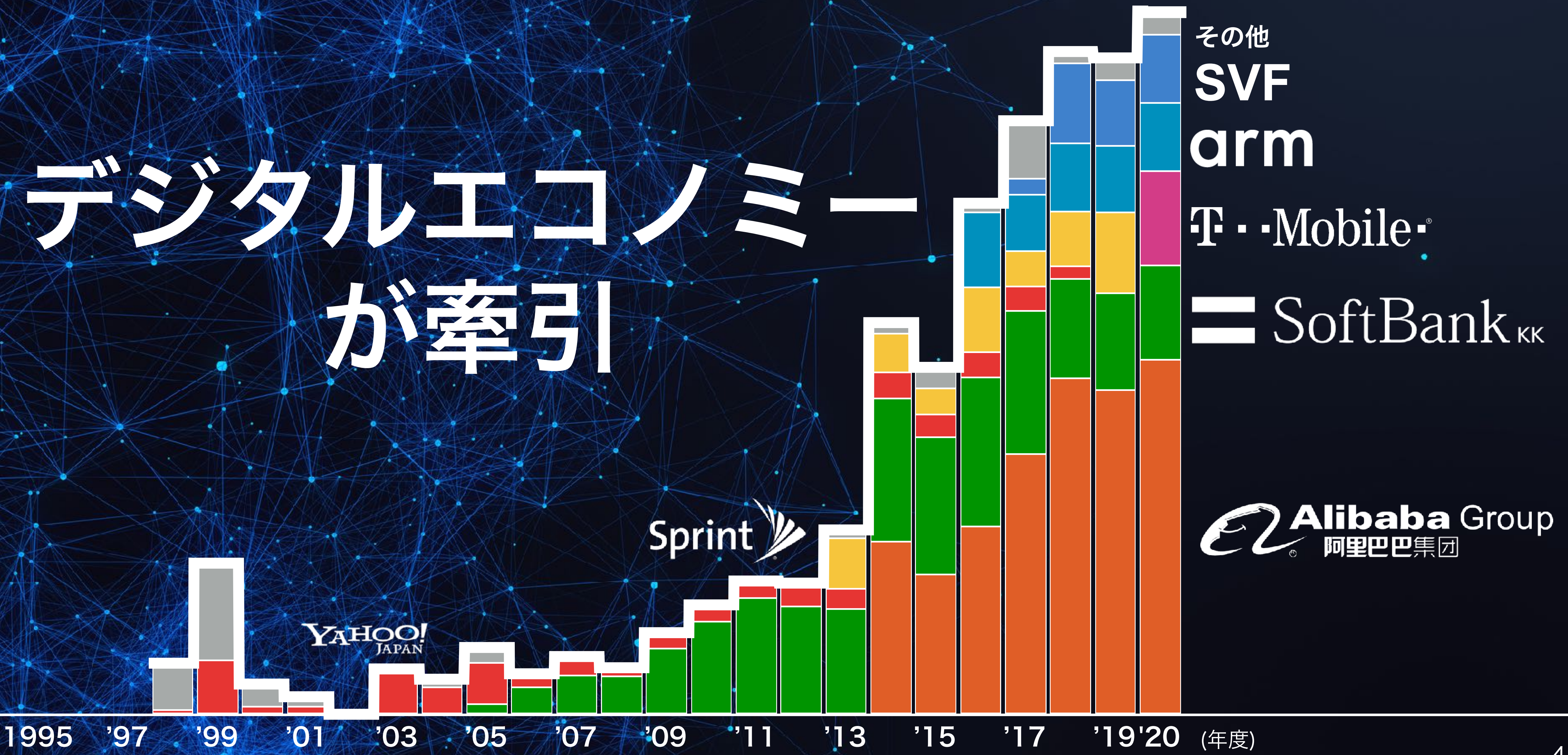
1995 '97 '99 '01 '03 '05 '07 '09 '11 '13 '15 '17 '19 '20 (年)

SBG株主価値：6月24日終値（日本）、6月24日終値（米国） インターネットトラフィック：全世界の総IPトラフィック(1ヶ月当たり)、(出所)Cisco VNI (Visual Networking Index)及びOECD

SBG 株主価値

23兆円

デジタルエコノミー が牽引



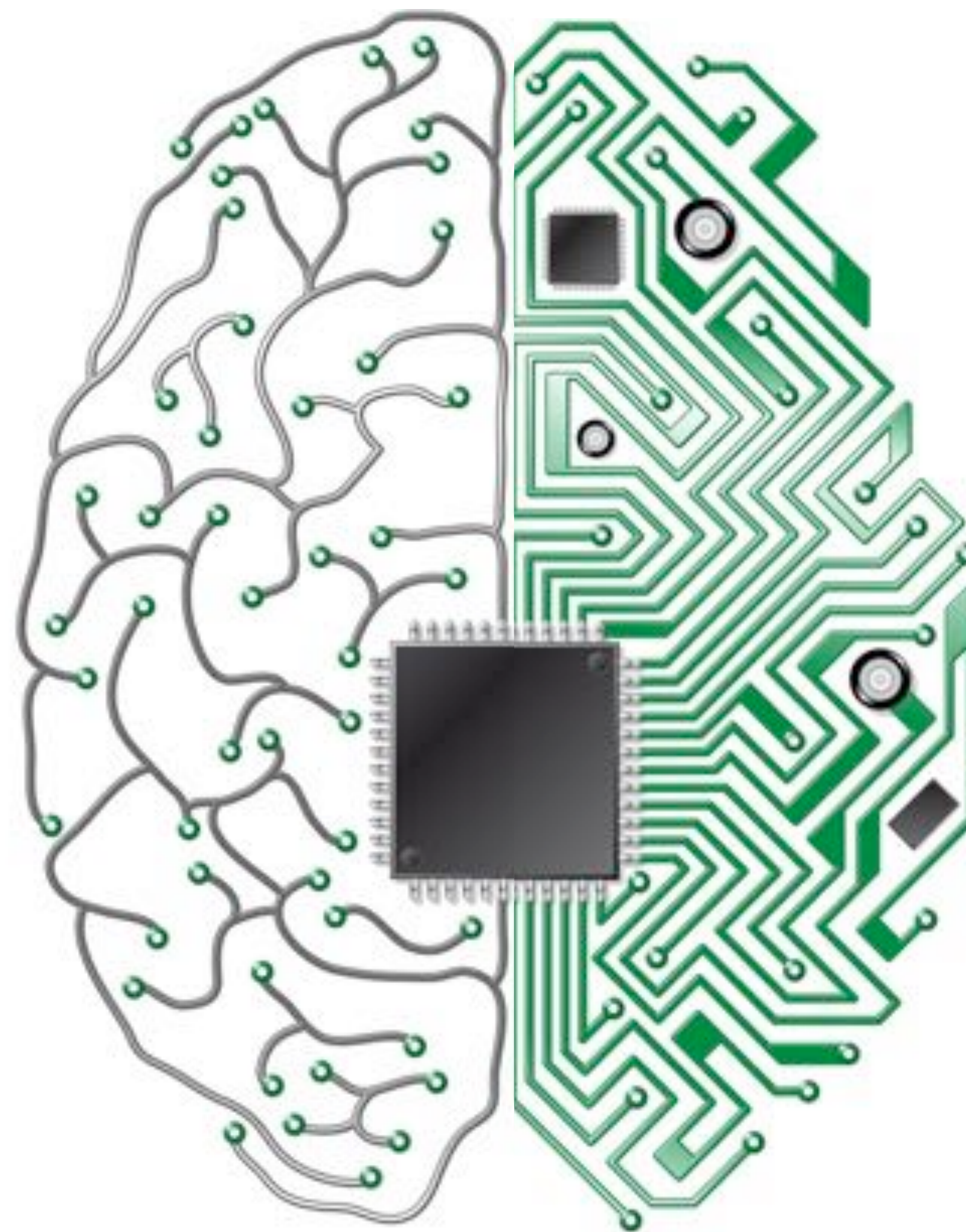
SBG株主価値：6月24日終値（日本）、6月24日終値（米国）

2010年6月25日

新30年ビジョン

＝ SoftBank
Group

脳型コンピュータの 実現



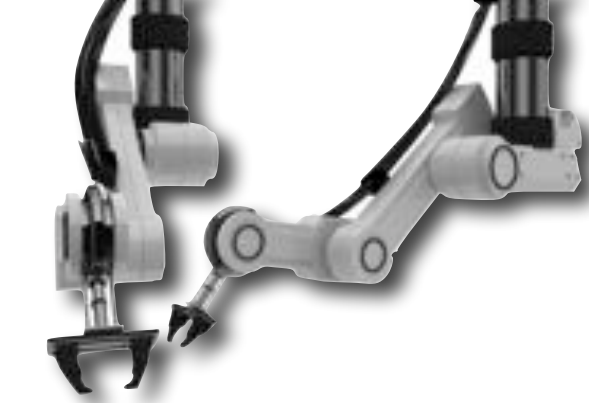
新30年ビジョン (2010年)

**DNA治療・
人工臓器の一般化**

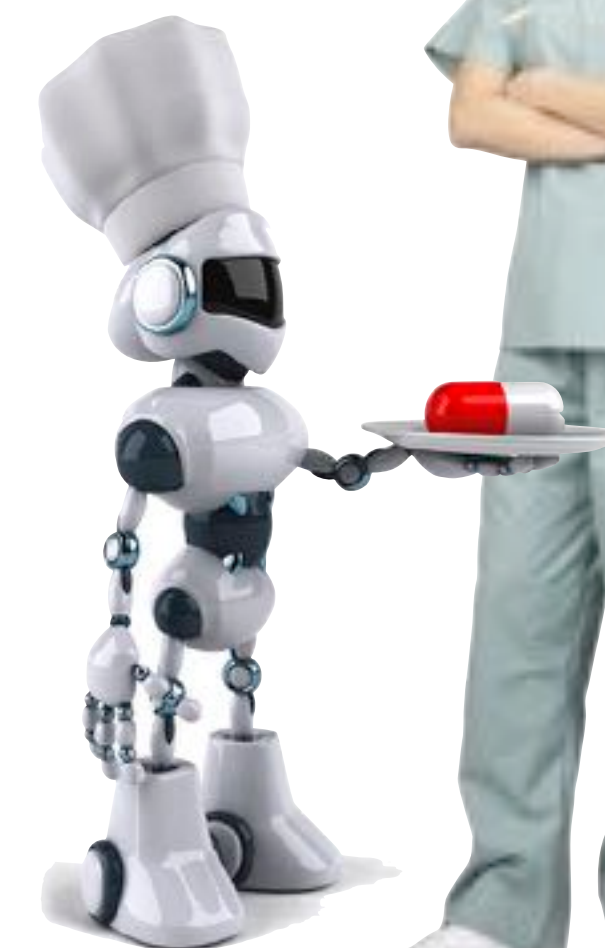


300年後に平均寿命200歳へ

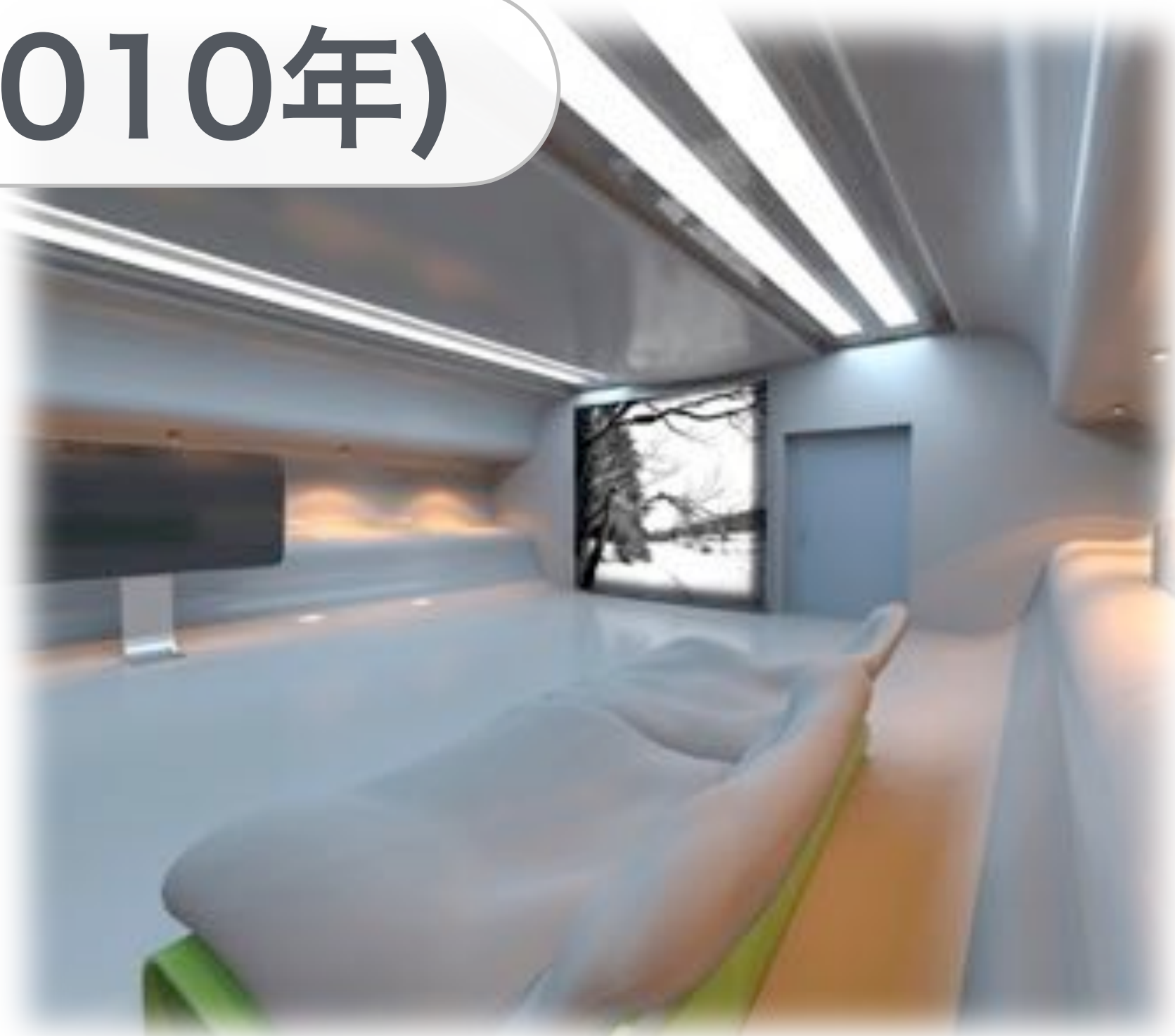
新30年ビジョン (2010年)



知的ロボット との共存

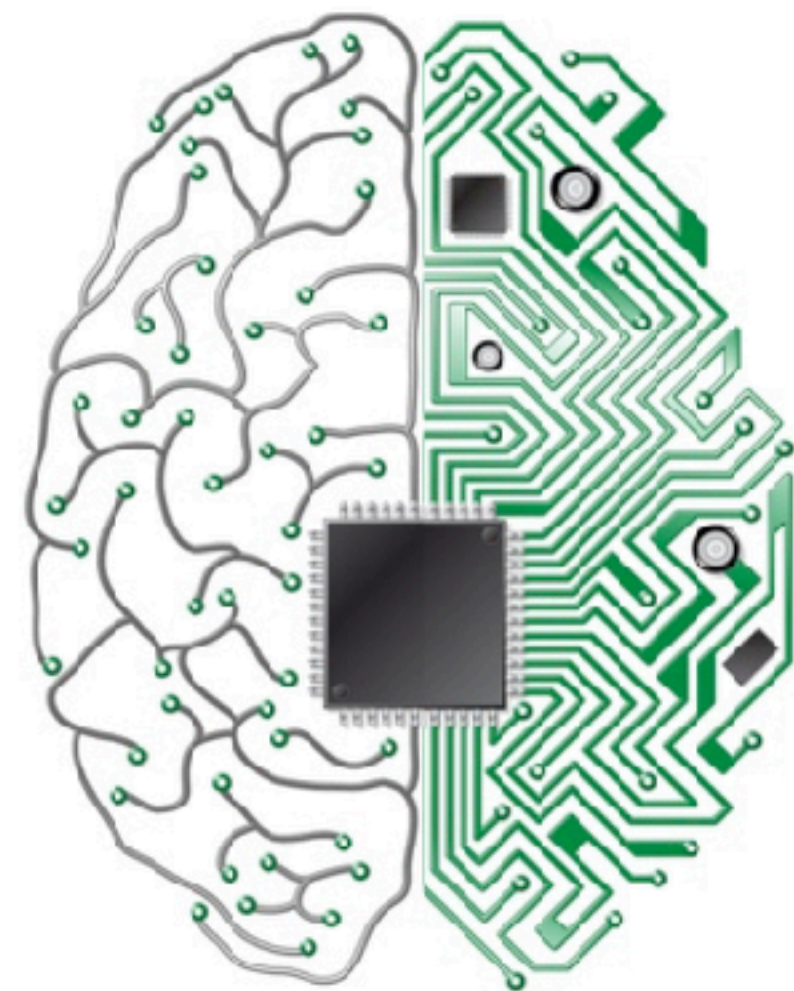


新30年ビジョン (2010年)



ライフログ

あらゆるものがクラウドと融合



情報革命で人々を幸せに





Appendix

Sum of the Partsの定義および算出方法（2019年12月末時点）

i. 純有利子負債

- 純有利子負債 = 純有利子負債(SBG)
- 純有利子負債(SBG) = 有利子負債(SBG) - 現預金等(SBG)
- 有利子負債(SBG) = 有利子負債(連結) - 子会社有利子負債(独立採算)
- 有利子負債(SBG): 以下の(a), (b), (c)を調整
 - (a) 2016年9月発行 円建てハイブリッド債：連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (b) 2017年7月発行 ドル建てハイブリッド債：連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (c) 2017年11月実行 円建てハイブリッドローン：連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
- 現預金等(SBG): 以下の影響を考慮
 - 2019年12月末時点で完了済みのSBGからSVF1への資産移管による資金回収及びキャピタルコールの支払いの見込み額
- 有利子負債(連結): ジャパンネット銀行の銀行業の預金を含まない
- 子会社有利子負債(独立採算): SBKK, スプリント, SVF1, Arm等の有利子負債の合計

ii. 保有株式価値

- アリババ: 2019年9月末時点のSBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- スプリント: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- Arm: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- その他: 主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

iii. 株主価値

- 株主価値 = 保有株式価値 - 純有利子負債

iv. その他

- 株価: 日本市場は2019年12月30日終値、米国市場は2019年12月31日終値
- 為替: 1ドル = 108.68円

※SBG = ソフトバンクグループ株式会社, SBKK = ソフトバンク株式会社, SVF = SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド

※別段記載のない限り2019年12月末時点のデータに基づいて算出

※別段記載のない限り税金考慮前

Sum of the Partsの定義および算出方法（2020年3月末時点）

i. 純有利子負債

- ・ 純有利子負債 = 純有利子負債(SBG)
- ・ 純有利子負債(SBG) = 有利子負債(SBG) - 現預金等(SBG)
- ・ 有利子負債(SBG) = 有利子負債(連結) - 子会社有利子負債(独立採算)
- ・ 有利子負債(SBG): 以下の(a), (b), (c)を調整
 - (a) 2016年9月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (b) 2017年7月発行 ドル建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (c) 2017年11月実行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
- ・ 現預金等(SBG): 以下の影響を考慮
 - 2020年3月末時点で完了済みのSBGからSVF1への資産移管による資金回収及びキャピタルコールの支払いの見込み額
- ・ 有利子負債(連結): ジャパンネット銀行の銀行業の預金を含まない
- ・ 子会社有利子負債(独立採算): SBKK, スプリント, SVF1, Arm等の有利子負債の合計

ii. 保有株式価値

- ・ アリババ: 2019年12月末時点のSBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- ・ SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- ・ スプリント: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- ・ Arm: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- ・ SVF: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ・ その他: 主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

iii. 株主価値

- ・ 株主価値 = 保有株式価値 - 純有利子負債

iv. その他

- ・ 株価: 日本市場は2020年3月31日終値、米国市場は2020年3月31日終値
- ・ 為替: 1ドル = 108.62円

※SBG = ソフトバンクグループ株式会社, SBKK = ソフトバンク株式会社, SVF = SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド

※別段記載のない限り2020年3月末時点のデータに基づいて算出

※別段記載のない限り税金考慮前

Sum of the Partsの定義および算出方法（2020年6月24日時点）

i. 純有利子負債

- ・純有利子負債 = 純有利子負債(SBG)
- ・純有利子負債(SBG) = 有利子負債(SBG) - 現預金等(SBG)
- ・有利子負債(SBG) = 有利子負債(連結) - 子会社有利子負債(独立採算)
- ・有利子負債(SBG): 以下の(a), (b), (c), (d)を調整
 - (a) 2016年9月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (b) 2017年7月発行 ドル建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (c) 2017年11月実行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (d) 2020年4月および5月に締結された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約・フロア契約・カラー契約）の調達金額（コスト控除前）の合計額
- ・現預金等(SBG): 以下の(e), (f), (g), (h)の影響を考慮
 - (e) 2020年3月末時点で完了済みのSBGからSVF1への資産移管による資金回収及びキャピタルコールの支払いの見込み額
 - (f) 2020年4月および5月に締結された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約・フロア契約・カラー契約）の調達金額の合計額
 - (g) 2020年4月1日から2020年6月15日までにSBGが取得した自己株式の取得価額の総額
 - (h) 2020年5月に実行されたSBKK株式の一部譲渡価額
- ・有利子負債(連結): ジャパンネット銀行の銀行業の預金を含まない
- ・子会社有利子負債(独立採算): SBKK, スプリント, SVF1, Arm等の有利子負債の合計

ii. 保有株式価値

- ・アリババ: 2019年12月末時点のSBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- ・SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出 (2020年5月に実行された同社株式の一部譲渡取引を反映)
- ・Tモバイル: 以下の(i), (j), (k), (l)の合計
 - (i) 売却予定の同社株式の価値: 2020年6月24日付プレスリリース「当社持分法適用関連会社（T-Mobile US, Inc.）株式の売却に関する売却株式数および売却価額のお知らせ」に掲載されている売却価額の総額(20,115百万ドル)（引受手数料その他一定の費用控除前）
 - (j) 株式購入オプションの対象となる同社株式の価値: ドイツテレコムが受領する株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)に、同社株式の株価を乗じて算出
 - (k) 売却および株式オプションの対象とならない同社株式の価値: 当社が2020年4月1日時点で保有している株数のうち、(i)および(j)の対象とならない株式数(4,800,000株)に、同社株式の株価を乗じて算出
 - (l) 一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)を無償で再発行してもらえる権利の公正価値
- ・Arm: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- ・SVF: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ・その他: 主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

iii. 株主価値

- ・株主価値 = 保有株式価値 - 純有利子負債

iv. その他

- ・株価: 日本市場は2020年6月24日終値、米国市場は2020年6月24日終値
- ・為替: 1ドル = 106.53円

※SBG = ソフトバンクグループ株式会社, SBKK = ソフトバンク株式会社, Tモバイル = T-Mobile US, Inc., SVF = SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド

※別段記載のない限り2020年3月末時点のデータに基づいて算出

※別段記載のない限り税金考慮前